

国立国語研究所報告 13

現代語の語彙調査

# 総合雑誌の用語

後編

国立国語研究所

1958

# 目 次

刊行のことば	i
この報告書の要旨	iv
<b>1 調査の輪郭</b>	<b>1</b>
1・1 この調査のねらい	1
1・2 計画	1
1・21 企画の際の諸条件	1
1・22 調査対象	3
1・23 調査研究項目	3
1・24 調査方式	3
1・3 実施	4
1・31 実施機関と担当者	4
1・32 実施の経過	4
<b>2 方法</b>	<b>6</b>
2・1 編集者調査	6
2・11 編集方針・読者層・執筆陣	6
2・12 表記法、表現のむずかしさとその対策	7
2・13 雑誌の分類についての意見	8
2・2 雑誌の部類分け	9
2・3 調査単位の句切り方	10
2・4 集計単位の定め方	19
2・5 作業手順	24
<b>3 語彙構造の量的分析</b>	<b>26</b>
3・1 語彙量の推定	26
3・11 問題	26
3・12 推定法のアイデア	26
3・13 推定法	29
3・14 推定結果	31
3・15 推定法の根拠	32
3・16 上記の推定法の反省	37
3・2 使用率の分布函数	38

3・21	分布函数を求める事の意義	38
3・22	今までに示された諸函数式	39
3・23	射影函数型による近似	41
3・24	結果の検討と問題点の反省	44
4	意味から見た語彙の構造	45
	分類語彙表	51
	分類項目一覧	74
5	語構成に関する分析	78
5・1	まえがき	78
5・11	分析の目標	78
5・12	対象の限定	79
5・13	分析の準備——語の品詞別分布——	79
5・2	語の結合力	83
5・3	語と語との結合関係	86
5・31	結合関係の分析	86
5・32	一字の漢語の結合形式	88
5・33	二字の漢語の結合形式	90
5・34	和語の結合形式	91
5・35	語の内部における結合形式	92
5・4	あとがき	93
付録Ⅰ	語彙調査の成立根拠と基本的諸概念の定義	94
付録Ⅱ	この調査で採った抽出・推定法	97
1	抽出・推定の方針	97
2	抽出三方式の比較	98
3	等大の集落抽出法による使用率の推定	99
4	実際の抽出	102
5	集計の方式	105
付録Ⅲ	同じ語か異なる語かの線型判別函数による決定	108
1	解決法のアイデア	108
2	この調査で使った判別函数	109
3	判別函数を作るまでの経過	113
4	付記	114
索引		116

## 4 意味から見た語彙の構造

われわれはこの報告書の前編（国立国語研究所報告12）に、五十音順及び使用率順の語彙表を掲げたが、これら総合雑誌の語彙調査で得られた語の総体は、意味の上から見て、どのような種類のものから成っているのであるか。これについて、全体の見渡しができるように作った一覧表が、51ページ以下に掲げる分類語彙表である。ここに少しく分類語彙表について説明しておきたい。

ここに分類語彙表というのは、一般に一つの言語体系の中で、単語がそれぞれどのような意味で用いられるかを一覧できるように、単語が表わし得る限りの意味を分類して、その各項にそれぞれの単語を配当したものである。

かような一覧表は、いわゆる同義語・類義語が同一のまたは近隣の項の中に収められるものであって、いわば類義語集をなすのであるが、普通の辞典のように、語の音形また表記形を手がかりとして排列したものでないことが一つの特色である。従って、実用的に表現辞典、詞藻辞典としては検索に不便であることはやむを得ないが、それは索引の工夫によって補われるであろう。しかしそれよりも、かような一覧表には次のような役目がある。その一つは、生活のまたは意味上の各分野から、適切な単語を選んで基本語彙を設定しようとする事業のために、偏りのない全体の見渡しを与えようとする。（基本語彙の設定は、ひいて基本文字の問題にも関連する。）そのためには、分類の各項におけるそれぞれの語の重みが、語感からも能率からも比較商量される必要があるとともに、分類各項相互が、生活の中でどのような地位を占めるかが考えられるように、分類がなされていなければならないが、とにかく各分野を余すところなく見渡すことによって、生活に基本的に重要な語を選び出すことができるであろう。また、基本語彙といわないでも、日常の用語における表現の過不足も、かような一覧表のわく組によって明らかにされるであろう。また、類義語の間のつりあいも、広い範囲、狭い範囲のいろいろの段階で見ることができるであろう。このことは、ひいて或る言語主体（個人にしても社会にしても）の語彙の構造を明らかにすることになり、もし分類が十分妥当であるならば、異なる言語主体の間の語彙比較の物さしとなるであろう。これは、作品の文体論に関連し、さらに、言語の問題をこえて、それぞれの社会の精神構造を追求するための基礎に役立つであろう。

51ページ以下に掲げる分類語彙表は、上のような実効を持つ分類語彙表への一つの試みというべきものである。

この分類語彙表は、報告書前編の五十音順語彙表に掲げた各語を、意味の分類の各項目に配分したものである。その「意味の分類」は、国立国語研究所報告4『婦人雑誌の用語』（1953）の§5・1分類語彙表に試みたものを修正したものである。大きな違いは、彼の写生詞と連体詞

#### § 4

と副詞の或るものとを、形容詞の群へ入れたこと、比較的大きな分類項目に彼の場合よりも細かい番号を与えたこと（前編の五十音順語彙表の「分類目」の数字はこの番号で、従って五十音順語彙表はこの分類語彙表の索引の役目をする）、名詞の群、動詞の群、形容詞の群等のそれぞれの内部では、互に連関するものを明らかにするために、それぞれほぼ同様の分類に整理し、番号をなるべく共通にしたこと（これは群の区別を撤廃することができないわけではないことを示す）、などである。

なお、大切なことは、婦人雑誌の分類語彙表の場合には $\alpha$ 単位の語を収め、このたびの分類語彙表には、この報告書 § 2・3 に説明するような $\beta$ 単位の語を収めたことである。従って、この総合雑誌の場合には、婦人雑誌の場合と同様《気をつける、筆をとる、ピンからキリまで》のようないわゆる慣用語が、表の中に現われないことのほかに、婦人雑誌の表にはある《お化粧法、看護婦、民主主義》のような合成語も、ここでは《お、化粧、法、看護、婦、民主、主義》のように分解されて、合成された全体の形としては現われない。これは、今のところ、純粋に意味上の単位を設けることが困難で、ことばの形式的な面を手がかりとする統計のための単位分割に従ったからであって、類義語集としては不十分であることを免れない。（重要な概念がこの表に見当たらないとすれば、それはこの調査の範囲では、その概念が重要なものとして現われなかったか、または $\beta$ 複合として表わされていたか、のどちらかである。但し、そのような $\beta$ 複合の合成語を掲げないというのは、この表においてのことであって、調査全体としては、組合せについての調査が、語構成の章のためには準備されている。）

(1.) (2.) (3.) (4.) の別は、おおむね文法上の品詞別によるものであるが<sup>補註1)</sup>、(1.) と (3.) の間では、特に名詞と形容動詞語幹との間に解釈の動揺が残っているかもしれない。

意味の上から見ると、ほぼ次のようになる。

名詞の群 (1.) には《何、何ごと、何もの、どれ、だれ、いつ、どこ、いくつ》等の概念を表わす語と、それらを問としてその答となるべき語とを収める。

動詞の群 (2.) には《ある》に関連するもののほか、《どうする、どうなる》等の答となるべき語を収める。

形容詞の群 (3.) (文法的には形容動詞の語幹、副詞の或るものを含む) には、《ない》に関するほか、《どう、どんな (に、だ)》等およびその答となるべき語を収める。

その他の群 (4.) には、(1.) の概念との間の、また叙述されるべき事柄と事柄との間の関係づけや、感動や、判断・期待・仮定など叙述態度についての予告や、呼びかけ応答や、待遇や、を表わす語を収める。

婦人雑誌の語彙分類をはじめの際には、まだ分類のわく組が出来ておらず、かつ類義語目録の先例として爾雅、節用集等の古い分類辞書の類か、土居光知博士の基礎日本語、ROGET の Thesaurus ぐらいしか知らなかったので、四千三百語の中で類義語を集めながらわくを組み立てていった。(もっともその前に、『日本語基本語彙』(国際文化振興会)の二千語について同様のことを試みてはいたが、このわく組は、また別にたとえれば、いわば精粗のつりあい

悪いにしても、海岸線と行政区画の線だけを表わした白地図のようなもので、このたびの総合雑誌の語彙の場合には、この白地図の上に、区画を修正しながら、前半の調査で得られた一万六千語を書きこんでいったことになる。ここでは、思考や行為に関するもののように、婦人雑誌の四千語の場合よりずっと細かく区画をしなければならなくなったものもあり、また衣食住に関するもののように、一区画の中の語の密度がずっと小さくなったというようなものもある。

分類項目の番号は、五十音順語彙表との対照上では、小数点以下2けたまでしか与えなかったが、実際分類はもう少し細かいものになっている。分類された各項の排列は、分類そのものとともにまだ非常に個人的な考えにもとづくものであって、多くの人を十分に納得させるまでには至らないであろうと思う。恐らく、かような分類表は、それを試みる個人によってそれぞれ異った形で現われるであろう<sup>補注2)</sup>。ここではしかし、かような一覧表の試みについての刺激になることを期待する。

小数点以下の大きな分類についていうならば、ここに分類の対象となるものは、人間の言語（ここでは日本語）によって切り取られた、大世界を構成する大小種々の部分的な完結体であって、それは、人間活動に関する部分と、そのわくに関する部分（.1）とに大別される。人間活動は、活動の主体であるもの（.2）と、その活動の様相（.3）と、その活動の相手として存在するものとの三つの観点で分けられる。そのうち、最後のものは、人間が直接に活動の結果として作り出した物また作り出すために利用する物（.4）と、そうでないもの、人間の主体的活動からは比較的自由に、外界として存在するもの（.5）とになる。ここまでの所で、次の5部門が立てられたわけである。

- .1 抽象的關係
- .2 人間活動の主体
- .3 人間活動—精神および行為
- .4 生産物—結果および用具
- .5 自然—自然物および自然現象

各部門の間の区別は、常識的に比較的明らかであると思われる。所屬が問題になる語は、多分に譬喩的用法を持つものであって、その際臨時的譬喩はもちろんのこと、その用法が慣用的であっても、一方に原義の用法が一般にあると認められる時は、つとめて原義によって分類位置を定めた。《爆発、冷却》などが心理的な意味に用いられても、自然の部門に収めたごとくである。

各部門の内容が、さらにどのように分類されているかは、実際に分類表に当たって見られることを望むが、それを原理的に述べることは至極困難である。その排列（番号づけ）は、各項は必ずしも一列には相接続してはいないから、土地に番号をつけるよりもはるかにむずかしいと思われる。しかも個々の語の持つ意味上の領域は、互に他を犯さないようなものでなく、広がりにおいて大小様々であるから、白地図の平面の上に書き入れていくには無理がある。ここでは、数個の分類項の意味を総合した意味や、それらの意味に共通した性質、共通した部分に関

する意味は、多くは、それらの分類項に先立たせて、一つの項を設けた。たとえば(1.56)は動物及び動物のからだに関する部分であるが、(.560)は(.561)の各種動物に対する総記の部分であり、(.5620)は(.5621~27)の身体各部に対する総記の部分である。番号によって項目を細分しないものにあっても、なるべくこの方針によって排列した。

この表で語を分類するに際しての「語の意味」というのは、それぞれの用例を通じて認められるところの意味であって、いわば個々の事物に対して常にあてはまるような概念である。個々の用例の前後文脈から汲みとられるその場の具体的意味は排除し、また自動・他動・受動・能動(このたびの調査には《れる、られる、せる、させる》を $\beta$ 単位の内部の要素として含めた)の別や、待遇その他の語感の差などは無視した。(従ってこれらの区別しか持たない語は、たとえば《私、僕、俺…1.200》や《変る、変える、変ずる…2.1500》や《そむく、そむかれる…2.1511》のように、それぞれの仲間を通じての中心的意味の分類区画の中に、同居することになる。)

語の用法は多岐で、その辞書的意味も一語についていくつも数えあげられるものがある。このたびの調査でも、まだ一語一語の意味の分析には十分及ぶ時間がなかったので、著しいものについては実例によってそれぞれの分類項の中に分置したが、多くの語はその中心となる意味についてそれぞれ一箇所に収めたのみである。(従って以下の表でも、或る一箇所に収めた語がその一箇所にしか掲げられていないからといって、第二の意味では用いられなかったものということ、厳密には出来ない。)

なおもう一つ述べておくべきことは、この意味の分類と語の排列では、個々の語それ自身のもつ意味が問題になっているのであって、その語が用いられる生活場面での他の語といかに交渉するかが度外視されていることである。語の中には、用いられる生活領域の固定したものもあるが、いろいろな生活領域で用いられるはずの語も多い。生活領域を分類して、それに語を分配する方法は、会話書のような日常の実用にとっては有効で便利な方法であるが、むしろわれわれは、いろいろな生活場面を通じて一つの意味がどのような語として現われるかに関心を持つ。そこで生活領域の分類よりも先に、語の意味を分類しようとし、さらに、我々がともすればおちいりやすい連想、用いられる生活場面の想起から連鎖的に他の種類に属する語を喚起することを、できるだけ避けようとした。たとえば、《ビール》については、《酒・スタウト・ウイスキー・飲む・酔う・一杯・あわ・ジョッキ・コップ・ほろにが・ホップ・赤ら顔》等々が連想の網の中に捉えられるであろうが、この複雑な目を持つ網はこの一語のためには大切なものであっても、《飲む》や《コップ》にとっては同様に有効なものとはいえない。ここでは、右の各語の中から、《ビール》と同類項をなすものとして《酒・スタウト・ウイスキー》のみを選び出すことにしようとしたのであって、いわば生産物に関しては、その中心意味の重点を用途に求めたものともいえるであろう。

以下の表は、本来、この総合雑誌の語彙調査の前半に得られた延べ十二万語に対する、異なり一万六千語について作ったものであるが、今ここに掲げるに際しては、報告書の前編の五十

音順語彙表（11～95ページ）に収めた四千二百語を特に採り上げて示すこととし、それ以外に調査の前半後半を通じていずれかに現われた語のおもなものを選んで、付載することとした。それによって、分類のわく（白地図における境界線）が明了さを加え、かつ、総合雑誌における多度数語の性質が見やすくなるであろうと思われたからである。

表の体裁について述べると、

行頭の数字は前編の五十音順語彙表の分類目に示した番号の、小数点以下2けたと、同一番号のうちを更に細分して番号を与えた場合の、第3、4けたである。細分の場合、第1、2けたは多くを省記した。

同番号の項の中も、小グループごとに、行をかえて一括した。

」はその小グループの限りを示す。

』の前に掲げるものは、標本使用度数7（使用率0.030%）以上の語（五十音順語彙表に載せた語）。——は、そのグループに該当の語がないことを示す。

そのうち、頭に \* の印を加えたものは、標本度数30（使用率0.130%）以上の語。

』の後に掲げるものは、標本度数6以下の語（の一部）。

以上のうち、尾に 。 の印を添えたものは、『日本語基本語彙』（国際文化振興会、1944年）の二千語に含まれた語。

（の後に掲げるものは、この調査では得られなかったが、『日本語基本語彙』にある語補注<sup>3</sup>）。

この表に掲げた語の表記は、便宜に従ったものである。（表記及び用字についての分析は別に報告の機会を待つ。）

なお、この分類語彙表の後に、分類項目一覧を添えて、この分類が全体としてどのようなものであるかを、大体から示すことにした。その項目一覧に掲げる番号は、もとより分類語彙表の番号そのものであるが、その番号のもとに掲げる語は、ただその分類されたグループが、どのような意味分野に属するものかを示すための見出しで、必ずしもこの調査で得られた語ではなく、従って分類語彙表に掲げられた語とは限らない。うまく選ばれているとすれば、各グループの総記の部分に位置を占めるはずのものである。

補注1(46ページ) 品詞別を最初の分類基準とすることは、概念を分類する上では賛成を得られないかも知れない。前述のように、各群で排列番号を平行させたことは、品詞別を撤廃する可能性を或る程度示すことになると思う。しかし、実際の分類の手續上、 $\beta$ 単位の語を手がかりに考えている間、動詞の陳述の機能や、形容詞の修飾の機能を取り去って名詞との間に比較定置することは、《動く—動き》《美しい—美》などのような限られた語の場合を除いては、はなはだ困難であった。（《よさ》等は形容詞群に入れることにしておいた。）

補注2(47ページ) 類義語目録の先例として、『婦人雑誌の用語』264ページに掲げた、ROGETやBALLYのもののほか今は次のような例を知ることができた。

Franz DORSEIFF: Der Deutsche Wortschatz nach Sachgruppen, Berlin, 1954.

Rudolf HALIG, Walther von WARTBURG: Begriffssystem als Grundlage für die Lexikographie (Versuch eines Ordnungsschemas), Berlin, 1952.



## § 4

前者は 20 類、910 項 (約一万語のアルファベティカルな索引がある)、物の分類によるとあるが、事物の現われる生活領域での連想が色こく見られる。後者は、フランス語約六千五百を見出しとする概念の分類で、3 大類 (Hauptteil), 10 中類 (Abschnitt), 61 小類 (Unterabschnitt), さらに類によって精粗さまざまに細分がなされている。その 3 大類とは、A L'UNIVERS, B L' HOMME, C L'HOMME ET L'UNIVERS で、その B には社会的な存在としての人間、人間の社会的また心理的活動のほか、生理的肉体的な存在としての人間に関するものをも含めている。各小グループの中には文法上の品詞の別を度外視して、たとえば《麦仕事》の項に《畑、境界、耕す、耕作人、鋤、種蒔く、くれうつ、地均し》等が収めてある。またたとえば L'UNIVERS の下位区分は、「人間が動植物に対して立つ関係を反映した排列」をとり、動物学植物学の分類には従っていない。そして、「事物のグループによって分類されたフランス語彙の抜粋ではない」ことを強調している。その方法と成果に対する批評はともかく、(WARTBURG 自身 DORNSEIFF について批評しているが) 語彙を体系的に把握するための基礎的な試みとして、我々の分類表とはその手順と結果を異にするが、同様の目的を持って我々に少し先立った業績として、注目すべきである。

なお、日本語について、

田中久直：学習基本語彙 指導の実際、東京、1956、  
には小学校の国語教科書 7 種における共通度の高い三千五百語についての分類が示されている。11 類、86 項、分類の主義は我々のと同様で、細かくはないが安らかなものである。

なお、ここで部分的に参考した分類例としては、1. 241 の項について、昭和 25 年の国勢調査に用いられた職業分類、1. 552 について『日本植物図鑑』、1. 561 については『日本動物図鑑』および『日本昆虫図鑑』がある。その他、『体系商品辞典』のようなものも参考したが、専門分野については、今後も専門知識によって修正されるべき点が多かろうと思われる。

補注 3 (49 ページ) 『日本語基本語彙』では、《おばあさん・運転手・八百屋・図書館・警察署・展覧会・寒暖計・蓄音器・自動車・自転車・飛行機》等、この調査での単位と異なるものがあるが、今はこれらを記入しなかった。

なお、われわれの調査は標本抽出調査であるが、この表で ( ) の印より後の語は、全数調査をしても、その使用率について、』の印より前の語の仲間に入ることは、ほとんどなかろうと考えてよい。しかし、』の印の後で、( ) の印の前と後とでは、その差を考えることはできない。

分類語彙表

1.1

100 \*これ。\*この 本 当』 這般』  
 \*それ。\*その』  
 \*あれ。\*あの かの』 こんな, そんな等→3.10  
 \*どれ。\*どの』 ここ, そこ等→.17  
 \*いずれ どちら。どっち』  
 かも』 あれこれ』  
 各々 個々』 某→.20  
 \*の。\*もの。\*方。前者 後者 分』  
 \*何。何事 何物 何等』 何々』  
 1 対象 \*事。事柄』 物事』  
 \*物』 物件』  
 万事』 一事 万端 諸般』  
 \*事件。出来事 大事 事故 沙汰』 大ごと 瑣事』  
 2 事項 項 件』 条項 項目 由 旨 儀 本件』  
 3 現象。事態』  
 \*真 \*実 \*事実。\*現実 \*真実 \*實際。』 史 実 情実』 →.13, 具体, まこと→.30  
 真理。』 形而上 諸行 有為』  
 \*秘密。』 機密 枢密 枢機』  
 4 本物 自体 主体 体』 正体 実体 実物 にせ 前身 個体 神体 機体』  
 \*代表。候補 \*代り。』代理 身代り 補助 副』  
 一』 主流 中堅 亜流』  
 資料』 史料 データ 標本』  
 一』 地 本位 本格』  
 一』 補欠 補充 補填』  
 \*他 \*ほか(他・外)。』 別個 別物 余儀 他人 ごと』 非→3.10  
 110 類 種 種類。』 範疇 たぐい』  
 一種 各種』 同類 多種』  
 形式。様式 \*式。流』 類型 タイプ』  
 象徴』 典型 模範。原型 モデル』  
 部門』 国別 性別 業種』  
 \*例。事例 ケース 例外』 実例 特例 類例』  
 \*階級。層 級 クラス』 階層 職階 冠位』  
 標準。基準(規準) \*水準 レベル 上等 上層 高等 高級』 中等 下。』  
 系 系統』 系列 血統』  
 1 \*関係。仲。』 問柄』  
 \*関連 縁』 関与 相関 かかわり』

\*基礎。 \*基本 \*根本 根源(根元)』 根底 基幹 源泉 語源 本末』  
 \*条件。前提 要因 根拠 拠りどころ 理由。わけ \*原因。所以 故。もと。所為』 \*何故 因 起因 成因 死因 因縁 由縁』  
 \*目的。\*為。\*目標』 目あて 用途 実用 乗用 軍用』  
 \*結果。成果 \*効果 \*影響。』 帰結 甲斐 効験 応報 帰趨』 成績→.34  
 証拠。口実』 例証 反証 言質』  
 手段』  
 2 同一 一致 \*違い。相違』 異同 該当 同上 類似 合致 まざれ 人違い 同業 同権 同郷 同好』  
 3 \*相互 相对 合い』  
 連絡。結びつき つながり』 連結 連帯 連鎖 一』 交錯 並行(併行) 対置 呼応 照応』  
 \*逆 \*反対 矛盾。』 相剋 包含 融合 混合 相応 食いちがい。ずれ』  
 対日 対外 対。』  
 從属 所属 兼』 付属。付随 隸属 直屬 專屬 被』 支配→.360, 独立→.124  
 120 一』 有無 あり合せ』  
 1 出現 登場 発生』 現前 きざし  
 \*実現 現われ 復活 提出』 現出 再現 生起 抬頭 惹起 自発 突発 勃発』  
 暴露』 開頭 露出 発露 發揮』  
 2 形成 樹立 結成』 創立 組閣 創設 発会』 創始→.1502 創造, 創作→.320  
 新興』 再興 中興』 成功失敗→.343  
 3 成立 確立』 成否』  
 完成 既成』 出来 成就 済み』  
 解消 廃止』 やめ 全廃 廃校』  
 4 \*存在』 存亡 存立 実在 実存』  
 一』 現行 既存 名残』  
 一』 普遍 偏在 散在 混在 内在』  
 \*独立。自立 孤立 依存 共存』  
 \*対立 \*中立』 連立 乱立 遊離』  
 滞在 駐屯 駐留 留守。』 在世 在住 寄留 駐日 進駐 在隊 在任』  
 消滅』 亡失 喪失 紛失 焼失 滅亡 絶滅 抹殺 抹消 断絶 佚』  
 5 固有 \*必要。』  
 \*維持 保存。保持 保全』 堅持 温存 永持

- ち 放置」  
 中略 抜き』略 前略 除外 排除 払拭 撤  
 回 撤廃 撤去 一掃 除幕」  
 放棄』棄却 破棄 廃棄 放擲 解除」
- 130 \*状態。様子。有様。情況(状況) 状 真相  
 現状』様 様相 相 態 実態 実相 生態  
 内状 症状 世相 好況 盛況 旧態」  
 景気→. 372
- \*事情。実情』情状 国情 政情 消息」  
 \*傾向。\*情勢 態勢』形勢 風潮」  
 調子。具合(合)。 加減 都合。』基調 順調  
 失調 論調」  
 気配 雰囲気』風情 趣き 趣向」  
 異常』異状」
- 131 \*風 観』外観 表向き ぶり 壮観」  
 ——』容姿 風貌 風采 装 てい、スタイル  
 さま 醜態」 →. 18
- 2 \*内容。中味 要素。実質』仔細 正味 エ  
 レメント 成分」  
 構造。機構 \*組織。\*体制 構成』仕組み 組  
 合せ 体系 システム 仕掛。」
- 3 性質。\*性 質。』悪性 品質」 →. 3. 301  
 \*性格 個性』格 パーソナリティ」  
 特徴。特色』特質 特性」 →. 341  
 本質』本性 性 習性 野性 国柄」  
 長所 欠点 欠陥』持ち前 取得 アラ 弱点  
 瑕瑾 性能」 能力→. 341
- 4 秩序』公序」  
 調和。調節 調整 同調」  
 均衡 緊張 緩和』釣合 均勢 バランス ア  
 ンバランス ゆるみ 弛緩」  
 美』  
 都合。』便宜 不便 支障」  
 破綻』故障。不備」  
 混乱』錯乱 攪乱 もつれ 紛糾 雜踏 混雜  
 混濁」  
 ——』純 粹 国粹」  
 ——』充実 緊迫 切迫 窮迫 危殆」  
 是非 正』善美 良否」  
 ——』弊 弊害 旧弊」  
 ——』勝目 けち 引け目 競争→. 353
- 140 \*力。\*力 エネルギー 原動』  
 \*勢力。実力 全力』威力 底力 強み 全力  
 主力 自力 独力」  
 精力 暴力 電力 戦力 兵力 武力』活力  
 智力 視力 腕力 弾力 国力 火力 労  
 力」

- 圧力 勢。』外圧 迫力 魅力」  
 機能 働き 能力』効力 失効 力量 インポ  
 テンツ」 →. 341, 性能→. 133
- 攻勢』水勢 国勢 守勢 惰性」
- 1500 作用。反応』即応」  
 \*変化。変革 変り』一変 激変 変更 変質  
 変貌 変動 転変」  
 \*化 悪化 激化』美化 硬化」  
 転換』転成 転化」  
 交換。』交替」  
 \*安定 一定」
- 01 革新 改革』更新 刷新」  
 回復 復旧 復興』復元 還元」  
 改善 改造 改訂 改良 修正 \*改正』改修  
 更正 是正」
- 02 開始 開戦』始まり 着手 開業 発祥  
 再開 草創 創始 皮切り」  
 終止 終了 \*終戦 \*休戦』終結 完了 店じ  
 まい 中止」
- 03 継続 続行』連続 続き 永続 相続 後  
 継 継承」
- 1510 \*動。\*運動。\*活動。\*自動 自転 運転  
 反動 反撥』身動き 胎動 激動 動揺  
 揺れ 主動 空廻り」  
 停止 停車』停留 碇泊 停滞」  
 固定』安置 鎮座」
- 11 ——』起立 立ち上り 起き上り 蹶起」  
 顛覆 飛躍』打倒 顛倒 狂奔 蹉跌 立脚」
- 1520 過程 経過 経緯 動向 軌道 コース』  
 筋道 道程 中道 成行き 航路」  
 ——』帰途 寄り道 別途 活路」
- 21 推移』移行 過渡 移動 移転」  
 出発。到着 到達 上陸』発足 発車 船出  
 到来 殺倒 波及 必至」  
 行進』邁進 突進 猪突 徐行」  
 通過 \*飛行』同行 道行 独歩 車行」  
 徹底。』横断 貫徹 直道」  
 推進』誘導 隨行 尾行 先駈 便乗 追撃  
 追いこみ 尻おし」  
 流れ』うわすべり 浮遊 漂流 天下り」  
 交流』流通 遠心 横行 蔓延」
- 22 進行 前進』後退」  
 後進』先進 逆行 東進 南下」  
 上京』下り 渡仏」  
 ——』往復。去来 通い 外来 出戻り」  
 帰り 帰国 送還 復帰』帰還 帰京 帰郷  
 帰省」

循環』巡回 巡洋」  
 ——』轉向 転回 偏向 脱線 逸脱」  
 1530 出入り 進出』外出 脱出 脱却 脱走  
 脱退 出所』 出欠席→. 351  
 入り 入ソ』入場 立入り 入国 入城」  
 導入 侵入』挿入 投入 移入 注入 先入  
 突入 流入 入水」  
 收容 吸収 收拾」  
 ——』放出 放水 流出 漏洩』放射→. 51  
 1540 昂揚 上昇 引揚 アップ』抑揚 高まり  
 騰貴 昇進 尻上り」  
 低下 投下 墮落』下向 下落 落下 墜落  
 没落 脱落 沈下 沈没 撃沈」  
 1550 ——』離合 集散」  
 結集 編成 蓄積』結束 集権 集結 集積  
 蒐集」  
 \*統一 集中 結合 総合 \*連合』合一 統合  
 総括 合体 複合 併合」  
 分解』分化 分散 発散 破裂」  
 分離 分割 \*分裂 分配』決裂 分列」  
 51 開放 公開」  
 ——』閉鎖 封鎖 掩閉 密封 幽閉」  
 ——』拘束 束縛」  
 1560 接触 衝突。』接近 隔離 ばなれ 命中  
 風当り 密着」  
 打撃』衝撃 乱打 摩擦。」  
 61 圧迫 圧倒 抑圧』圧縮 重圧」  
 抵抗。反抗」  
 62 防止 妨害 阻止 障害(障碍) 邪魔。』  
 阻害 妨げ 難関」  
 打開 突破』回避 打破 バス 融通」  
 1570 ——』変形 造形」  
 ——』傾斜 折 歪曲 卷 裏返し」  
 \*破壊 破滅 崩壊 解体』切断 カット 玉  
 砕 倒壊 壊滅 決壊」  
 ——』頽廢 荒廢」  
 71 \*増加 増進 増大』激増 漸増 増額  
 水まし 倍加 値上げ 値上り 賃上げ」  
 減少 切下げ』軽減 削減 半減 引下げ」  
 延長 延期』伸長 引のぼし 背のび 短縮」  
 拡大 充実 展開』拡張 拡がり 膨脹」  
 ——』収縮 萎縮 緊縮」  
 増強 補強 \*強化 強調』衰弱 消耗 衰減  
 老朽』 →. 57  
 優越』凌駕 耐震」  
 72 発達。\*進歩。\*発展 進展 向上 \*改進』  
 昂進 進捗」

1600 位置。\*立場 場 場面』シーン」  
 境遇 破目』境地 境涯 窮地」  
 \*地位』ポスト 配置 帝位 席次」  
 \*場合。段階 段 政局』局面 局 難局 行  
 きがかり」  
 1610 \*時。』刻」  
 \*何時。』いつごろ」  
 \*時間。』年月おんげつ 月日 歳月 時日」  
 \*間』合間」  
 一時 一瞬 瞬間 一刻 刹那」  
 \*機会 チャンス \*危機 動機 契機 きっか  
 け』機運 好機 転機 画期」  
 \*際 折節 序で。』途端 折柄 潮時 帰  
 しな 間際」  
 \*頃。時刻 時分』時点 時限 定刻 定期  
 日時 日取」  
 11 毎 たび。』都度 毎度」  
 \*毎日 日々 毎年 年々』日ごと 毎晩 毎  
 夜 毎週 月々」  
 日常 日頃』通常 経常 平生 ふだん」  
 時々 時折』折々 時たま」  
 臨時。』隨時」  
 一旦」  
 1620 生涯 一生』一代 半生」  
 青春 中年』幼少 初老 晩年」  
 時期 期間 期』年季 有期 無期」  
 後期』前期 長期 短期 下期 早期」  
 永遠 永久』金輪際」  
 21 \*時代。代 紀』時局 時世」  
 \*現代 \*近代 古代 原始 戦時 維新』戦国  
 王朝 神代 ルネッサンス」  
 \*世紀』紀元」  
 \*昭和 大正 \*明治 慶長」  
 1630 \*年とし(歳)。\*年度 年間 半年』年次」  
 辛酉』戊申 豊年」  
 メーカー』元旦 年末 暮 除夜」  
 31 季節。春秋 春。夏。秋。冬。』季 学期」  
 32 月。』月間 月余」  
 中旬』上旬 下旬 月末」  
 正月』 一月・二月かっ→月. 192  
 33 週間』週」  
 34 \*日。』半日 連日」  
 節まつ日曜』デー 休日 命日 縁日」  
 35 午前。午後。\*朝。昼。夕方。晩。\*夜。  
 夜』終日 ひねもす 朝夕 夜明け 早朝  
 日中 昼前 正午 午下り 日暮 夕暮 夕  
 刻 深夜 夜半 夜 暗夜」

1640 —』古今」

41 \*今。\*現在。目下 この頃』只今 現時  
今頃 当今』 現→3. 16  
\*今日 \*今日。今夜』本日 今朝。今晚 今春  
今秋』  
\*今年。本年』  
—』今生」

42 \*過去。\*昔。\*元 \*旧 前』疾う 大昔  
古』  
昨日。』昨夜。昨。一昨(年) 過日 先日 こ  
ないだ せんだって 先月 旧臘 (おとし  
い。おとし。)

去年。\*昨年』  
先 先刻 先程 先頃 \*最近 近頃』先刻 先  
般 昨今 近年 往年 ひところ』  
多年』永年』  
来 從來 本来 もともと』爾来 古来 旧来  
年来』

43 \*将来。未来。目前 \*今後 前途 先。』  
ゆくゆく 近々』  
明日。』明日 あした。明朝 あさって。来月  
来春 来年。来世』

1650 \*先』順 順序。順番 順位 後先 本番』  
\*初め。\*最初。先頭』前半 後半 真先 先鋒  
優先』

初 初期』初頭 当初 巻頭 トップ』  
末。\*最後。最終』末葉 末期』  
途中。最中 \*中。』中途 戦中』  
\*次。』次回』

51 終始』首尾 顛末』  
終い(仕舞) 終り 挙句(揚句)』冒頭 出鼻 中  
盤 結び 大詰 臨終 結末』  
—』極 窮極 行詰り』

52 —』新旧 急ぎ 遅れ』  
\*同時 \*当時』同年 同日 当日』  
前後 \*前。以前 直前 \*戦前』寸前 事前  
かねて 前々』  
\*以来 \*後。\*後 \*後。以後 直後 \*戦後  
以降』読後 死後』  
後日』後年 後世 後代 前日 前年』  
翌 翌日』翌朝 翌年』  
\*今度 今回』今次』

当面』当分 当座 即刻 すぐさま』

53 —』日課 課程 工程 カリキュラム』  
—』日曆 本曆 官曆』 曆→1. 31

1700 —』空間』

\*所(処)。』

\*ここ。\*そこ。あそこ。\*どこ。』いずこ どこ  
そこ こちら 当地 そちら』  
各地 あちこち』所々 随処 各所 あちらこ  
ちら 方々』

場所。個所』地点』  
所 \*場』 現場。職場→. 262  
\*地』現地』

01 \*点 諸点 重点 焦点 頂点 要 観点』  
起点 基点 振出し 終点 ゴール 盲点  
拠点 急所 足場 足がかり』

\*もと(下・許)』局地 口もと 耳もと』

02 範囲。地域 地区 地帯 \*地方。区域  
領域 \*土地。』帯 域 神域 芸域』

分野』視野 裡 脳裏』

圏 界』

基盤』

中』

席。座』座席 議席』

\*跡(痕)。』形跡 痕跡 あとかた 遺址 廢墟』

03 限界 境。国境』境界 境』限度→. 194

1710 向き \*方向。直面』向け 指向』  
こちら。こっち あちら。どちら。』そちら。  
そっち あっち どっち』

向う』手前 あなた 対岸』

縦。横。』斜。傾き 逆さ。傾斜。』

あて』行先 途方』

ほう。』方位 方角』

東西 \*東。\*西。南北 南。北。東北 東南  
東方 西方 南方』うしとら』

—』西部 北部 中部』

11 左右 左。左翼 \*右。右翼』左 左方  
右方 右下 右舷』

\*上。\*上。\*下。下』上部 上段』

地上 地下』海上 卓上 頭上 面上 屋上  
席上 世上 軒下 床下 治下 管下』

12 \*中。\*中心。\*中央。』中頃 中核 核心  
中枢 都心』

—』そっぽ 末梢 末節 末席』

片隅 はずれ』隅。隅 一角 街頭』

—』上 下 上手 下手』

上流』中流 下流』

1720 \*面 一面 正面』平面 斜面 部面 前  
面 生面』

表面。表。裏。反面』裏面 内面 半面 側  
面』

紙面』盤面 函面 地面 河面』

\*側。』西側 舷側 両側 蘇側』

\*前。後。背後』 門前 駅前 店先 前方 後部』

\*間。\*間。中間』

先』 端。端 先端 末端 端緒 いとぐち』

21 内外』

\*内(中・裡)。\*内。\*中。\*内部 党内』 体内 屋

内 境内 場内 坑内 市内 学内 空中 宙 渦中 懐中 城中 陣中』

外。外。外部 域外』 外様 線外 門外 港外 国外』

裡 懐』 \*奥。底。』 奥底 どん底 胸底 船底 陰(蔭・翳)。

横。』 横っばら 真横 左横 両脇』 隣。』 隣室 隣席』

よそ』 1730 付近 かわら 側。』 ひとり 湖畔 寄

沿い、伝い、近隣 近辺 浜続き 鼻先』 近く 遠く』

近所 周辺 まわり(回・廻・周)。周囲。一帯 環

境』 ぐるり』 \*辺り 辺 方面』 身辺 界限』

180 \*型』 大型 小柄 拵え 詩型』 形式→. 110 \*形。形態 形(型)』 外形 形状 形骸』

—』 塊り。粒。滴』 丸。』 方形 長方 三角 円形 楕円』

玉(球)。』 立体。円壱』 —』 鱗形 波紋 波状 魚形 畸形 (皴)。

\*姿。恰好』 姿勢 ポーズ 半跏』 点。』 斑点 傍点』

\*線。ライン 筋。』 棒線 基線 斜線 路線 本線 曲線 曲折 急カーブ』

—』 角。曲折 カーブ そり』 —』 三叉』

1 穴(孔)。入り口』 孔 口 銃口 切口 は

け口 隙 隙間 ギャップ』 粹。』 外輪 台 下地 管 彫』

模様。目。』 柄 縞 網目 布目』 —』 束。一団』

—』 破片 かけら 片鱗』 —』 核 芯』

欄』 包み』 列。』 行列 家並 一連』

190 量。高 額 レコード』 数量 分量 ヴェ

リューム 値』 件数 人口』 内訳 紙数 人数 人員 定員 搏数』

距離。幅。高度 高さ』 間隔 寸法 波長 直

径。半径 周 身丈 (背)』 規模 面積。』 大小 (体積)』

年齢』 適齢 学齡 年数』 金額』 年額』 価格→. 371

能率。』 効率 精度 高率』 温度。』 熱度 気温 水温』

—』 角度 視角 重量 比重 軽重 速度

スピード テンポ 時速 強度 強弱 濃度 感度 血圧 収量 水量』

1910 \*数。\*数。』 零・五 \*一 \*二 \*三 \*四 \*五

\*六 \*七 \*八 \*九』 \*十 \*二十 \*三十 \*四十 \*五十 \*六十 \*七

十 \*八十 \*九十 \*百 \*二百 \*三百 \*四

百 \*五百 \*六百 \*七百 \*八百 \*九百』 \*千 \*二千 \*三千 四千 \*五千 六千 七千

八千 九千』 \*万 \*億 兆』 幾つ。\*幾ら。幾。』

幾百 数百 何百』 幾十 幾百千 数十 何

千』 \*一人(独)。\*二人』 一日 二日 三日 四日 七日 八日 九日

十日 二十日』 二三』 四五 二六 四六』

—』 番地 ナンバー ワン ベストワン ベ

ストツ 베스트スリー 元』 若干 多少』 幾分』

11 \*多数 大量 大勢 大幅 高価 少数』 多量 巨額 少量 小額』

—』 半数 半額 同額 パー 寸分』 係数』 偶数 約数 分母 根 指数』

\*倍 分の』 乗 平方。立方。二分 三分』 平均。割合。\*割 率』 比率 レート 歩割』

差。』 開き 差額 誤差 格差 差引』 合計 総額』 総数 総計 票寄せ』

プラス マイナス』 当り』 おき 足かけ』

2 単位。』 \*割 分 台(代) \*パーセント』 \*第。位 番。\*号 世 代 等』

\*度 \*回 \*次 遍』 階 重』 丁目』

個 件 \*名 枚 \*本 台 軒』 騎 艘 隻 輛 門 目 戸』

冊<sup>ページ</sup> \*頁。』 卷 丁 行」  
 頭 匹』 羽 尾」  
 歩 通』 服 発 抱 杯 皿 封」  
 籽 米』 キロ センチ ミリ」  
 里』 町 間 尺 寸」  
 哩』 ヤード フイート」  
 町歩 畳』 反 坪」  
 石』 升」  
 噸 キロ』 グラム パール 貫」  
 \*時 \*分 時間。』  
 \*年 箇年 \*月 \*箇月 \*日 \*日」  
 \*歳』  
 \*円。 銭 文』  
 \*ドル フラン』 ポンド セント シリング  
 ルーブル ルピー リラ マルク」  
 30 \*全部 全面 \*全体。 \*総て(凡・全)。 \*皆。  
 \*一切 一同 \*一般』 全員 一式 総がかり  
 網羅 全群 全土」  
 \*部分。 \*一部 \*部。 半分。 半。 半ば 大半  
 \*多く \*大体。』 一半 半々 過半 大部」  
 中』 満場 満部 満水」  
 集団 集 群。 群 組。 グループ』 集まり 一  
 行 アベック マス」  
 両者 双方 両方 \*一方 他方』 複 片方  
 片」  
 \*等 \*等。 \*方。 \*違。 \*ども」  
 31 過剩 過ぎ 余 余地 余裕 余計 のこ  
 り』 超過 おまけ 蛇足 余分 余剩 残額  
 残高」  
 不足』 欠乏 払底 半端」  
 付 付』  
 \*など。 \*なんか \*なんて』  
 32 \*程度。 \*程。 \*位。』 何程」  
 限度 限 \*限り』 極まり 至り」  
 \*以上。 以下。 以内 \*以外』  
 乃至 \*まで。』 限界, 範囲→. 170  
 \*のみ \*ばかり。 \*だけ。』

1.2

200 \*私。 \*わたし \*僕 \*俺 我 \*我が 予  
 わし \*我々』 わっし 拙僧」  
 \*あなた。 \*君 \*お前 あんた \*諸君』 汝 貴  
 下 貴女」  
 \*彼 \*彼女 あいつ」  
 \*誰。 何人 何者』 誰々 どなた。』  
 おのれ \*自ら \*自身 \*自分。 \*自己 本人  
 他人』 当人 同人 別人 自他」

各自 各人』  
 某』  
 2010 \*人間 \*人。 人物 \*者。 \*方。』  
 \*人 \*人 \*者。 \*家。 \*士 \*奴 \*生 \*員 徒  
 婦 マン 姫』 手 漢 奴 夫」  
 \*人々 連中 方々 衆』 連 兩人」  
 \*様。 \*さん。 ちゃん \*君 殿 \*氏。 嬢』 陛  
 下 殿下 ミスター」  
 公 丸 軒』  
 11 \*神。』 神 氏神 武神」  
 仏。』 仏 菩薩 観音 明王」  
 メシア キリスト』 天主 救主」  
 一』 天狗 夜叉 聖靈 ばけもの」  
 2020 男女』 異性」  
 \*男。 男性 男子 野郎』  
 \*女。 \*女性 婦人 女子 女 女史 女の子』  
 \*子供。 \*少年 少女 児童』 赤ん坊 幼児 小  
 児 悪童」  
 \*青年 若者』 乙女」  
 大人。』 成人 おっさん」  
 老人 老 翁』 爺 老婆 古老」  
 美人』 美男 麗人 大男」  
 210 家族。 皇室 一家 家 族 源氏』  
 親子 父兄』 妻子 子弟 遺族」  
 一』 隠居 居候」  
 1 夫婦。 夫妻』 配偶」  
 良人。』 亭主 夫君 夫 婿。』  
 妻。 \*夫人 女房』 妻君(細君) 家内 かかあ  
 老妻 先妻 後妻 妾」  
 未亡人』 後家」  
 20 \*親。 両親』 父母」  
 \*父。 父親 父。 親父』 老父 パパ」  
 \*母。 母親 母。』 母上 ママ」  
 一』 継母 義母」  
 祖父 じい。』 祖母」  
 一』 先祖 祖先 祖」  
 21 \*子 児 孤児 息子。 \*娘。 皇子 皇太子』  
 寵児 養子 嗣子 太子 曹司」  
 一』 長男 次女 末子」  
 一』 孫。 子孫。 後裔」  
 嫁。』 嫁っ子」  
 30 兄弟。』 姉妹 同胞」  
 兄。』 兄貴 兄 長兄」  
 姉。』  
 一』 実兄 義兄」  
 弟。 妹。』 弟妹 令弟」  
 一』 実弟 義弟」

- 40 一』 親類。親戚 皇族」  
 叔父。おば。』  
 一』 従弟。甥」
- 220 \*相手。』  
 仲間。同志 同士』  
 味方。\*敵。』 かたき 敵手 外敵」  
 友達。友人 友』 親友 旧友 学友」  
 知合』 近づき 知人 知己 隣人」  
 一行』 連れ 道連」
- 1 \*主人。主婦 マダム \*奥。』 あるじ 女  
 将」  
 \*客。』 泊り客 国賓」
- 230 \*民族。人種 \*国民。』 ネーション」  
 外人』 邦人 エトランジェ 白人 黒人」  
 市民 村民』 住民 住人 移民」  
 一』 世人 私人」
- 1 \*人民 \*民衆 \*大衆 民 平民 庶民』 万  
 民 衆生 公民 士民 臣民 臣 重臣」
- 2 \*天皇 皇帝 王 女王』 天子 国王 君主  
 暗君 暴君 中宮 摂政」  
 一』 大名 諸侯 国造」
- 大統領』
- 3 官僚 武士 ブルジョワ 豪族 貴族』 侍  
 公卿」  
 信者 クリスマン』 信徒 教徒 宗徒」
- 4 英雄』 豪傑 大聖 三哲」  
 紳士 大物』 名士 大官 要人」  
 博士』 農博」  
 一』 秀才 文豪 人材」  
 つつ  
 通』 先達 先覚」  
 インテリ』 インテリゲンチャ」  
 一』 フェミニスト ニヒリスト」  
 一』 論客 弁士 闘士」  
 名人』 チャンピオン 選手。エキスパート」  
 素人 プロ』 アマチュア」  
 一』 花形 売れっ子」  
 金持』 成金 長者」  
 一』 旅人 乗客 旅客 お上りさん」  
 常連』 新人 有志」  
 一』 奇人 野人 おきゃん」  
 一』 あわて者 なまけ者 ピエロ」  
 一』 愚者 酔っぱらい ごろつき」  
 病人 患者』  
 一』 死者 盲人 狐つき」  
 一』 勝者 弱者 にない手」  
 一』 義民 暴徒」  
 捕虜 奴隷』 俘虜 とりこ 人質」
- 犯人』 国賊 戦犯 罪人 囚人」
- 240 一』 成員 要員 一員」  
 職員 会員 黨員』 店員 隊員 社員 塾員」  
 \*議員 \*委員」  
 職』 教職 閑職 現職 要職」 →. 38
- 10 一』 技師」  
 \*教師 \*教授 教官 教員 講師 \*学生 \*生  
 徒。』 学徒」  
 医師 医者。医』 按摩」  
 \*作家 詩人』 文士」  
 \*記者』 ジャーナリスト プロデューサー」  
 一』 歌手 テナー チェリスト」  
 俳優。スター 役者 女優」  
 画家』 絵描き 画伯」  
 名人』 棋士 家元」  
 \*学者。』 学究 儒者」  
 牧師 教祖』 神官 僧侶 坊 法師 尼 禪師  
 伴天連 始祖 開祖 在家」
- 11 役人 官吏 \*官』 補 吏 属」  
 \*大臣 閣僚 \*首相 外相 文相』 相 宰相  
 蔵相」  
 次官』 奉行 大夫 参事 文官」  
 大使 公使 領事』  
 判事 検事』  
 一』 知事 庄屋 地頭」 長→. 243  
 重役』 専務 頭取」 社長→. 243  
 地主』 親方 元締 マネージャー 用人」  
 書記』 秘書 クラーク」  
 給仕。』 (車掌。)
- 12 業者 メーカー 商人 商 問屋』 豪商  
 買弁 株屋」  
 一』 売子 小僧 丁稚」  
 一』 かつぎ屋」
- 13 百姓 農家 \*農民』 作男 カウボーイ」  
 漁民 漁夫』 狐師 漁師」
- 15 一』 セーラー マドロス」
- 16 工員 工 職人』 職工」  
 一』 大工 石工 鳶職 とび」  
 一』 土方 人夫 ニコヨン」  
 一』 自労」
- 17 警官 刑事』 巡查。足軽 門番」
- 18 女中。』 召使 侍女 忠僕 書生 学卒」  
 一』 小使 ボーイ 三助」  
 一』 女給」  
 一』 ガイド メッセージャー」  
 一』 マネキン」  
 一』 芸者 傾城 躑躅おしやく



パンパン』街娼 男娼」  
 19 スパイ』まわし者」  
 強盗』ギャング すり 海賊」  
 ——』乞食」  
 2 軍人。兵隊。兵』歩兵 憲兵」  
 ——』士官 下士」  
 元帥 將軍 將校』神將」  
 大將』將官 准將 大佐 大尉 軍曹 三正  
 一査」  
 提督 參謀』幕僚 副官」  
 3 \*長。長』  
 議長』  
 \*長官 總裁 司令』総督」  
 \*社長』総長 総務」  
 学長 校長』教頭」  
 会長』会頭 所長 館長 駅長」  
 部長 課長』局長 係長 組長」  
 村長』市長 町長」 知事→. 241  
 首長 首班』頭 主席 主任 盟主」  
 ——』次長」  
 4 幹部 ボス 首脳』ワンマン 長老 上役  
 グラ幹」  
 \*先生。師匠 師』師弟 先輩」  
 旦那 親方』パトロン 抱主」  
 手先 側近』部下 番頭 子分 従者」  
 弟子』門下 教え子 後輩」 臣→. 231  
 5 係。』係官 係員」  
 役員 理事 幹事 顧問』 役→. 34  
 作者 著者 筆者 \*読者』訳者」  
 監督。』助手」  
 フェン』  
 聴衆 観客』観衆」  
 \*被告』原告 証人」  
 ——』聞き役 立役 端役 後ジテ」  
 ——』オルグ スポンサー アジテーター」  
 ——』主 持ち主 株主」  
 使 特使 ミッション』使節 伝令」  
 250 公 私 民間』公け 一身」  
 \*個人。』  
 1 \*家庭。\*家。家。家々』世帯」  
 ——』本家 分家 実家 旧家」  
 ——』家門 武門 患家」  
 2 故郷 郷里 \*国。』故郷 郷土」  
 地元』異境」  
 3 \*国家 \*国。\*国』邦家 君国 皇国 斯国  
 ステーツ」  
 \*全国 \*国内 内地』内国」

自国 祖国 本国』母国」  
 同国』  
 \*外国。他国 海外』隣国 隣邦 異国 外地」  
 大国 軍国 帝国』強国 王国」  
 国々 \*国際。各国 \*諸国』列強」  
 連邦 两国』盟邦」  
 ——』和漢 和洋 民国 ヒンディ」  
 藩』  
 4 都市 都会。都 都 \*町(街)。街 郊外』  
 露部 下町 盛り場 花街 場末 洛北」  
 地方。田舎。\*村。\*農村』山村 漁村 僻地」  
 部落』  
 5 領土』縄張り」  
 府県 府 \*県 都 郡 \*市』  
 \*区』学区」  
 260 天下』万国 八紘」  
 \*社会。世間 \*世の中。\*世』浮世」  
 1 \*世界。』天国 冥途」  
 \*界 政界 財界 文壇』野 官海」  
 \*市場 \*陣營 筋』  
 ——』労使 労資」  
 2 \*戦場』つとめ先 持場」  
 議場』会場 宴席」  
 現場 戦場 陣 戦線』売場」  
 \*基地』  
 ——』早場 本場」  
 3 神社。寺。寺 \*教会。』  
 \*学校。\*校 学園』  
 \*大学 大 京大 東大 学部」  
 高校 中学 \*小学」  
 ——』全校 他校」  
 官学 私学』アカデミー」  
 母校』学窓」  
 4 \*会社。昭電 日産』公社 公司』社→. 280  
 \*銀行。日銀』世銀」  
 \*工場。』工廠」  
 市場。市』マーケット ヤミ市」  
 駅。』  
 ——』鉱山。炭坑」  
 5 商社 店 店。問屋 商店 デパート」  
 ——』質屋 飯屋 酒場 茶屋 料亭」  
 ——』本屋 書店 煙草商」  
 ——』魚屋 靴屋」  
 ——』土建」  
 旅館。宿屋 宿 ホテル』  
 ——』床屋 銭湯」  
 病院。』医院 医局 薬局」

劇場 座』

\*屋。\*所。』

6 宅 自宅 下宿 アパート 荘 坊』 私邸

ホーム 寮 本営 キャンプ』

教室 会館 \*館』 道場 サロン』

法廷』 廷』

——』 監獄 ラーゲル』

——』 関所 宿』

270 \*機関 体』 団体→. 280

本部 支部 \*部』

1 \*政府。\*内閣 幕府』 朝廷 国府』

官庁 役所。当局』

\*省 \*院 \*局。庁 署 役場』

課 官房』

2 国庫 \*警察 国鉄』 復金 行監 地裁 国  
警』

3 \*国会 \*議会 上院』 衆院 参院 両院  
市会 村会』

委』

4 \*軍 軍部 \*軍隊。』

\*海軍。\*陸軍。空軍』

米軍 仏軍』

\*隊。部隊 艦隊 師団 連隊』 勢 中隊 分  
隊 デモ隊 縦隊』

——』 寄せ手 後詰』

5 \*国連 ユネスコ』 ガット オリンピック  
赤十字 コミンフォルム』

280 \*同盟 連盟』 連邦→. 253

\*団体。\*団 合衆 \*社』

\*組合 労組 総評』

農協 漁協』

経団連』

党派 \*派』 徒党 一味 別派』

\*政党 \*党 与党 野党 両党 右派 左派  
左社 右社 労農 ナチス 中共』

サークル クラブ』

宗』 教団 財団 球団』

謡講』 宮座 新派 トリオ』

班』 隣組 め組』

\*会。協会』 学会』 大会→. 341

1 クラス 2 L A』 学級 全級』

2 財閥 軍閥』 閥 藩閥』

### 1. 3

3000 \*心。\*心 \*精神。心理。魂』

\*意識』

元氣。』 意気 精根』

気質』

印象。感動 感激 感心。興奮 感覚。実感

同感 苦痛』 疲労』

不意』 失神 虚心』

\*夢。』 眠り 目覚め 酔 休息』

——』 眩惑 錯覚』

氣違い 馬鹿。』 ヒステリー 癩癩』

\*感 \*感じ \*気。\*気持。気分 気味 心持。』

心境 機嫌。』 心情 心事』

01 \*感情。情緒 感傷』

——』 退屈。』

恐慌』 驚き 驚異 驚愕』

愉しみ』 興 慰み』

喜び』 歓楽 享楽』

苦しみ 悩み』 苦悩 労苦』

——』 閉口 困却 困窮』

——』 憐れ 悲哀 哀愁』

恐怖』 物怖じ おじけ 臆病。』

怒り 憤り』 腹立ち 憤慨 短気』

悲しみ』 嘆き 慨嘆』

\*心配。不安』 憂慮 懸念 危惧 焦躁』

安心。』 落付き』

不満 満足。』 不平。満悦』

02 \*好き』 好み 好奇 愛書』

親しみ 友好』 親露 向米』

愛。愛情 同情。愛国 恋愛 恋』 友愛 情愛  
慈悲 博愛』

——』 遠慮。謙遜 卑下 恐縮』

反感』 嫌い 憎悪 忌避 厭軍』

反米 反共』

恨み 遺憾』 痛恨』

好意 親切。』 好感 誠意 篤志 忠義。幸  
行。』

感謝。同感』

信頼 信用。』

尊敬。尊重 崇拜 輕蔑』 敬意 珍重 敬仰

感服 欣慕』

迷惑』 当惑』 人気→. 341

03 表情 顔つき \*顔。』

——』 忍び泣き 男泣き』

苦笑』 笑い 微笑 失笑』

\*声。笑声』

3010 念 信念 \*努力。\*勉強。苦心 苦勞 我慢。辛棒 夢中』 自我 心がけ 一念 熱中  
没頭 心酔 浮氣 忍耐』

自主 自信 誇り 名誉。面目 勇氣。』 自慢。

自負 自嘲 恥。恥辱 士氣 客氣 躊躇。』

覚悟 後悔。懺悔 悟り」  
 慾。性慾 願 念願 望み \*希望。欲望 切望  
 待望 \*期待 失望 諦め』本能 衝動 食  
 慾 節度 志願 志 野心 強氣 断念」  
 \*態度。自覚 反省 趣味。』ユーモア」癖→12  
 11 意 意図 意志。\*心算。\*自由。』内心  
 意向 意思 故意 任意 随意 総意 神意  
 わがまま 横暴」  
 良心。正義 道德。\*誠。使命 \*責任。罪。  
 善 悪 不正』義 名分 人道 道義 操  
 善徳 余徳 背信」  
 信仰 \*宗教。\*教 カトリック 回教』迷信  
 宗旨 儒教 仏教 禪」  
 義理 恩。お陰。』恩寵 恩義」  
 12 練習。訓練 熟練 試練 習慣。癖。』見  
 習 習得 慣習 洗練」  
 稽古 学習』研鑽 専攻」  
 修業 修身 演習 セミナール』模倣 真似。  
 夜学 修養 涵養 復習」  
 記憶。覚え 記念。\*経験。体験 思い出』暗  
 記 蘊蓄 回顧 忘却」  
 20 知性 智慧。知 \*知識。常識。良識』理  
 性。勘 センス 見識」  
 思い \*考え 考慮 感想 \*思想。見解 \*意  
 見 偏見 観』思考 考察 工夫 推理 配  
 慮 発想 私見」  
 確信 不信 疑問。疑い』所信 盲信 懷疑  
 嫌疑 容疑」 信頼→02  
 注意。\*関心 \*興味。用心 警戒』留意 油  
 断。』 用意→33  
 認識 承知。存知 解釈 \*理解。諒解 把握  
 誤解 納得 確認』早わかり 合点 判明  
 混迷」  
 21 区別。対照 \*比較。分類 整理。参照  
 参考。』識別 混同 対比」  
 選択 採択』選 選定 銓衡 人選」  
 22 \*実験。試み 試験。検査 審査 審 検  
 察 検討 探求 追求 捜査 探検』追試  
 考查 診察。檢疫 原審 検閲 詮議 追究  
 追及 捜索 探偵 模索」 発見→90  
 \*調査 分析』調べ 吟味 解明」  
 \*研究。観察。観測 計算。勘定 統計。評価  
 発明。』測量 算出 換算 清算 精算」  
 証明。実証 \*解決。』審理 考証 裏づけ こ  
 じつけ ゴマ化し」  
 23 想像。空想 \*理想。』仮定 幻想 夢想  
 妄想」 目的→. 111

判断。\*判決 否定 断定 結論 予定。決意  
 決心』判定 認定 審判 決断 静観」  
 推定 予想 予測 見透し 見込 \*筈。』推量  
 推測 推察 憶測 占い 予期 予断」  
 24 承認』是認 否認 否決 是々 非々  
 \*決定 取決め 制定 国定』定め 所定  
 暫定 確定 設定」  
 30 構想 要約』あらまし 概括 筋書 眼目  
 見どころ 要 要旨 要点 要諦」  
 理念 概念 觀念 \*具体 抽象 客観。』表象  
 命題 主観。』  
 \*意味。\*わけ。意義 広義 趣旨 \*問題。課  
 題 話題』定義 含み 主旨 論旨 テーマ  
 議題」  
 一』題材 特ダネ 議事」  
 31 論理 \*理論。理窟。無理。』論法 理 道  
 理 つじつま ナンセンス」 矛盾→. 111  
 嘘。誤り 間違い』虚偽 聞き違い 手違い  
 訂正 取り返し」 真→. 103  
 学術 \*学問。\*学。\*科学。\*専門。教科 \*科』  
 学芸」  
 \*哲学。物理。化学。地理。医学 教学。』漢学  
 法学 外科 曆 算術。』  
 説 \*論 世論』論説 社説 論究 輿論 公  
 論 緒論」  
 32 原理 原則 綱領 \*法 法則 \*規定 \*法  
 律。規則。憲章 \*憲法 \*条約 令』範  
 規約 規律 法制」  
 \*MS A』商法 独禁 破防 刑訴」  
 \*主義。建前 方針。\*主張。イデオロギー』信  
 条 教理」  
 \*民主 デモクラシー \*共産 フェッシズム  
 \*保守』勤王 ブルジョワジー リアリズム  
 日和見」  
 \*方法。方式 術 手続 \*方 \*様。戦術』術  
 方途 定式 流儀 手がかり 工法」  
 手段→. 111 技術→. 341  
 \*制度。\*制 職制』新制 官制」  
 33 見地 見通し 見当』狙い あて 目先  
 観点」 →23, 目標→. 111  
 準備。\*計画。企画 戦略 予備 用意。』支  
 度。企て 共謀 陰謀」  
 \*案 原案 法案 方策 策 \*政策 対策』試  
 案 懸案 施策 プラン」  
 90 御覧。視 拝見 \*発見。見物 注目 無視  
 監視 \*番。』一見 所見 看取 直視 凝視  
 傍観 展望 人目 重視 閲兵 観劇 視察

- 』展示 展覽 陳列 誇示」  
指示 指定 指摘 指針』示唆 暗示 指図」
- 91 —』聴取 採聴 公聴」
- 3100 —』言辞 言説 言動 口先 叫び」  
\*言葉。言 言 文句 \*語。科白』言語  
言語 辞 熟語 詞 句」  
国語。英語』露語 パングリッシュ 方言 隠  
語」
- 』発音 口調 訛 アクセント」
- 01 符』印。示標 肩章 符号」  
文字 字。数字 赤字』漢字。かな。」  
表。図。\*式。』地図 グラフ 図案」
- 』楷書 行書 草書」
- 02 —』命名 呼称 自称」  
名前。\*名』銘 題。題目 題名 名目」
- 03 \*表現 表明 描写』叙述 形容 誇張  
換言」  
翻訳 訳』通訳 国訳」
- 04 発言 一言 沈黙 引用』ひとりごと 断  
言 力説 放言 過言」
- 05 声明 言明 宣言』披露 公言 提唱」
- 06 \*発表。公表』發布 布告」
- 07 読書 愛読』朗読 熟読 拝誦」
- 10 通信。\*手紙。便り 電話。電報。』書簡  
音信 矢文 打電」  
知らせ 通達 周知 予報 予言』通知 諜報  
朗報 予告」
- 11 \*報道 ニュース 情報 宣伝。\*新聞。放  
送。』マスコム 日報 広告。」
- 12 挨拶。\*話 会話 談 座談 講義 講演  
説教』合図。呼びかけ 祝辞 喋り 雑談  
縁談 講座 福音」
- 13 問 質問。返事。答え 答申 答弁 解答  
回答』問答 反問 拷問 詰問 クイズ 否  
応 応酬」
- 14 \*批判 批評。\*非難 皮肉』言分 異議  
苦情 申訳 弁解 諷刺 いや味」
- 15 議論 論議 討論 討議 協議 衆議 代  
議 審議 \*会議 \*会談 提案 決議』評議  
論争 論難 反駁』抗議→. 352
- 16 言論 \*演説 弁護』弁論 遊説」
- 17 \*報告。陳情 自白 告白 投書 投票』  
証言 進言 申出 申込 密告」
- 18 \*説明。注 説得』解説 注釈」
- 19 噂 評判 寸評』世評 名声 デマ 好評  
悪名 誇り 悪口 悪口」
- 20 記載 前記 調印 署名』筆写 記述 執  
筆 登録 捺印」
- 21 文章。文。前文 編 節 条 記 \*記事  
記録。』全文 本文 本文 空文 漢文 長  
篇 余録」
- 22 文書』書類 調書 白書 覚書 コミュニ  
ケ 免状 ヴィザ」
- 23 文献 図書 書籍 書物 \*書 本。古典  
\*雑誌。誌 紙 巻』著書 珍本 古書 辞  
書 じびき。全集 選集 句集 集 聖典  
読本 テキスト 台本 絵本 名簿 カタロ  
グ」  
書紀 万葉 聖書 読売 タイムズ』
- 24 プログラム』目次 序 メニュー 曆。」
- 320 創造 著 立法 作曲』独創 創作 著作  
作文」  
\*作品 原稿』名作 合作」
- 1 \*芸術。文芸 \*文学。詩。\*歌(唄)。聖歌  
民謡 スローガン 陀羅尼』歌 和歌 俳句  
川柳 ことわざ。」  
評論 論文 日記 \*小説。物語 伝 手記』  
散文 隨筆 リポート 脚本 母もの」  
神話 落語 冗談 謎』説話 伝説 夜話 エ  
ピソード 祝詞 洒落」
- 2 美術。\*絵。\*写真。』絵画 蒔絵 工芸。  
彫刻。」
- 3 音楽。曲』節。音頭 雅楽 謡 浄瑠璃  
シャンソン」
- 4 \*映画。演劇 劇。芝居 悲劇 歌舞伎  
能』歌劇 オペラ キネマ」
- 3300 \*文化。\*伝統 権威 \*歴史。\*史 由来』  
道統 古事 故事 いわれ」  
風俗。風潮 流行。文明』通俗 アプレ 風靡  
普及 通用」
- 10 \*人生 運命。仕合せ 福祉 幸運(好運)  
災害 震災 水害 凶作 被害 幸い。\*幸  
福。不幸』運。幸 宿命 艱難 難 遭難  
饑饉 冷害 戦災 災難。禍 惨禍 罹災  
避難 (害。)
- 11 出世』処世 立身 復員」
- 12 入党 就職 辞職 失業 立(候補) 下野  
引退 入閣 入社 入院 就任 兼任 留任  
退官 応募 獵官」
- 2 勤務 勤勞 \*労働。共稼ぎ 従業 従事  
閑。夏休み ストライキ \*スト 争議』服  
務 出張 休暇 暇 サボ アルバイト」
- 3 \*生活。暮し』独身 一人暮らし」  
—』居住 居 土着 同居 逃亡 夜逃」

—』起居 徹夜 宿泊」  
 食事。』朝食 昼飯 晚餐 弁当 酌宴 大食 喫茶」  
 化粧。武装 性交』理髮 美容 仮装 洗面  
 嗽 保健 養生」  
 4 入学 卒業。進学 留学 受験』在学 放  
 校 勉学 落第 入門」  
 5 結婚。離婚』結髮 戴冠 洗礼」  
 6 \*式。祭 祭 クリスマス デモ』儀式 祝  
 い 婚礼 葬い 葬式。』 会合→.351  
 —』 礼拝 祈禱 参拝 墓参」  
 7 旅 旅行。外遊』 遠出 観光」  
 碁 将棋 パチンコ \*運動。スポーツ 野球。  
 舞』遊び 道楽 戯れ 娯楽 手品 ゲーム  
 体操。競技。レース 水泳 テニス。剣道  
 ダンス 踊り 芸当 競輪 散歩。(相撲。』  
 8 騒ぎ』 騒動 失火 心中」  
 9 乱暴。』胡坐 半跏 身振 セスチュア 抱  
 擁 辞儀。接吻」  
 —』腕づく かつぎ 手ぶら 摺取り 板挟  
 み 戸締り 発掘 肉づけ 首っ引き」  
 —』一呑み ラッパ呑み 一肌 一足」  
**3400 義務。任務 公務 担当』当為 任 職務**  
 兵役 受持」 \*  
 01 権利。\*権 \*権力 権限 主権 人權  
 \*政権 特権』 權益 民権 覇権 家督」  
 1 資格。身分 出身 生まれ \*役。役目 役  
 割 経歴』 身上 本分 系譜 閱歴」  
 職→.380  
 人格 人気 魅力』 人柄 人品」  
 教養 才能。\*技術。』 素養 学力 技能 芸  
 手腕 演技 無能 文盲」 →.3032  
 —』体面 威儀 エチケット 風紀(礼儀。』  
 —』行状 品行 素行 非行 情事』→3.301  
 冒険』 振舞 動作 業 手際 やり口 手口  
 暴挙」 乱暴→.339  
 20 行為 \*行動 \*実行 実践 実施 執行  
 遂行』 履行 決行 敢行」  
 犯罪 犯行 無罪 疑獄 汚職 殺人 売春』  
 再犯 有罪 連坐 放火 窃盗 賭博 売笑  
 売国」 罪→.3011  
 21 活躍 \*運動。\*活動。主催』 奔走 イニ  
 ャティヴ 先手 当亭 対処 行使 興行」  
 従事→.332  
 22 用』 所用 雑用 私事 用事。』  
 3 失敗。\*成功。成績。功績 達成』 業績 過  
 失 自業 手柄。』

**3500 交際。\*外交。』 交り つき合い 国交 運  
 衝 鎖国」 同盟→.280**  
 01 争い 紛争 喧嘩。講和 \*平和。妥協』  
 係争 反目 抗争 排斥。排外 親善 融和  
 宥和 協和 和解」  
 反撥→.151 反米→.302 同調→.134  
 1 会見 対決』 面会 面接 再会」  
 訪問。』 歴訪 見舞。来朝 辭去」  
 招待。応接 歡迎』 招聘 勧請 見送り」  
 案内。馳走』 接待」 紹介→.362  
 別れ』 告別 訣別 離別」 →.155  
 \*会。会合 \*大会 総会 集会 出席。解散』  
 パーティ 召集 陪席 欠席。』  
 20 約束。契約 \*協定 締結 裏切り』 婚約  
 公約 密約 協約 妥結 解約」  
 21 相談。\*交渉。依頼 許可 拒否 \*支持  
 賛成。同意 容赦 \*反対。抗議』 接衝 承  
 諾 承服 合意 譲歩 許容 辞退 拒絶  
 一蹴 共鳴」 →.3002  
 22 \*協力 協同 \*参加 加盟 加入 脱退  
 団結』 参与 参画」 共同→3.36  
 23 寄与 貢献 サービス 犠牲。』 奉仕 奉  
 公 殉国 献身 慈善」  
 3 競争。勝負 勝利 克服 敗北 敗戦 対  
 抗』 手合せ 試合。勝敗 勝ち 優勝 戦勝  
 降服 屈服 凱旋」  
 \*闘争 \*闘い(戦) 戦闘 作戦』 闘争 死闘  
 接戦 冷戦 野戦」  
 \*攻撃。反撃 爆撃 襲撃 空襲』 防禦 砲撃  
 進撃 ゲリラ 撃破 撃退 退却 敗退」  
 \*戦争。\*大戦 \*戦 挑戦。』 軍 役 義戦 緒  
 戦」 休戦→.15  
 暴動 動乱 事変』 一揆 反乱」  
 \*軍事 \*防衛 自衛 国防 \*軍備』 防備 防  
 空 軍拡 駐兵」  
 征服 \*侵略 不可侵』 遠征 鎮圧 制圧 掃  
 蕩」 占領→.370  
**360 —』 建国 割拠」**  
 \*政治。自治 統帥 指揮 総理 管理 \*監督。  
 \*支配。』 統治 君臨 掌握」  
 \*革命 反逆』 謀叛 大逆」  
 専制 独裁 共和 \*封建 共産』 帝制 法治  
 立憲 霸道」  
 國務 行政 司法 \*財政 大藏 通産 農林  
 文部 外務 \*植民』 文武 国政 政務」  
 \*保安 治安 徴兵 警備』 公安 摘発 検査  
 逮捕 釈放」

訴訟 \*裁判。公判 処刑 追放 八分』捕物  
抑留 起訴 刑務 刑罰 刑 懲役 死刑  
差押]

1 設置 設立 国立 私立』新設 増設 公  
立 都立]

\*経営 運営』国营 公营 自营 主宰 主幹  
司会]

人事 動員 派遣 \*選挙。雇傭<sup>くひ</sup> 任命  
委任 除名 特派 日雇 解雇 罷免 減首  
首切り] 失業→. 331

2 \*教育。\*指導。感化 文教 養成 育成  
啓蒙 授業 教え 教化 養育 助長 教訓  
啓発 伝授]

\*要求。請求。強制 要望 要請』強要 賦課  
課税 免除 募集] →. 352

命令。指令 \*禁止。弾圧 制限。統制 制約  
取締り 拘束 \*解放』訓令 号令 規制  
牽制 引締 制御 制止 自制 抑制]

違反 違憲』遵守 合法]

奨励 促進 勧告 警告 \*注意。』激励 煽動  
挑発 振興 誘惑 忠告 催促。]

\*援助 手伝い、支援 応援 救い、扶助』助  
力 助け 助成 後援 救済 救援 救護  
救国]

\*保護。擁護 \*保証 保障』守護 護衛 後  
見] 弁護→. 311

待遇。世話。厄介 看護 紹介。干渉』介抱  
周旋 介入 調停]

賞 賞讃 讚美』表彰 褒美。礼讃 叱り 侮  
辱 誹謗 罰。]

推薦 信任』推奨 信認 起用] →. 361

礼。失礼。迫害 脅威』仕打ち 不礼 脅迫  
恐喝 威嚇 報復] →. 3002

370 獲得』既得』  
有 所有。\*独占 固有 手持 \*占領 確保』  
所蔵 領 持ち 所持]

預金』貯蔵 貯金。貯え]

\*経済。金融 インフレ 保険。』インフレーション  
デフレ 財務]

家計 \*予算。』経理 会計 採算]

収入。所得 支出。投資 融資 消費』収支  
未収 支弁 支払 払込 遣い、投機]

1 税金。税』関税 運上]

財産。\*資本。資産 \*資金 外資』基金 学資  
ガリオア]

\*金。\*金 金銭』現金 大金 外貨 ヤミド  
貨幣→. 401

株』国債 株式 籤]

価値。物価 米価 相場 価格 プリ コスト  
\*貸銀(貸金)』値段。値 値打ち 原価 平価

高価 家賃 代金 運賃 代価 代 料金。』  
費用。\*費 経費 国費 負担 無駄。』冗費  
食費 小遣い]

給与 給料。サラリー 恩給 手当』報酬 給  
付 俸給 月給 祿 ボーナス 無償 代賃]  
利子。』質 担保 マージン 利廻り]

2 利害 利潤 損。損害 \*利益。利己 不利  
\*為。』利 損益 損失 得。儲け 金儲け]  
軍需 特需 供給。注文。発注 補給』需要。  
供出 供与 調達]

取引 \*貿易。通商 \*輸出。\*輸入。』交易]  
交換→. 150

販売 購買 買付 仲買』売買 売却 小売  
ダンピング 払下げ 購入 買物 競売]

提供 頂戴 搾取 掠奪 侵害』授受 捧呈  
割愛 支給 給食 差入 接收 収奪 争奪  
横領 盗み 返し]

献金 礼 贈りもの』寄付 カンパ 募金 賄  
賂 祝儀]

賠償』貸借 貸付 貸出 貸貸 借入 借金  
借款 うわ借り 問借り 信託 返済]

\*貧乏。貧困 不況 不振 景気 繁榮 贅  
沢。』貧富 窮乏 富。節約。儉約。破産]  
配給 為替』仕送り 送金 配達。]

380 \*仕事。\*事業。』難事 仕上げ]  
労働→. 332 成功→. 343

\*産業。実業 \*企業 業務 \*事務。』生業 営  
業 請負 下請]

\*生産 増産 産』マスコ 操短]

職業。業 職 農業。農 漁業。商業。\*工業。』  
商工 現職 教職] →. 24, 役→. 341

1 ——』農作 稲作 麦蒔き 田植 収穫。  
漁 潜水 密猟 熊打ち 飼育]

商売。』商 商事 行商]

印刷。』製鉄 製錬 伸鉄 紡績 発電 鑄造  
鋳業]

工事。\*建設 建築。再建 造船 \*設備。施設  
建』造営 新築 普請 採光]

開発 貯水』土木 敷設 防波 治水]

交通。航空 輸送 海運 郵便。』航海 運輸  
集荷 水揚]

厚生 衛生 治療 主治 医療 診療 外科  
手術 手当』注射 輸血 防疫 避妊 予  
防]

ジャーナリズム 編集 出版 版』特輯 刊行  
 創刊 初版 誤植 校正」  
 掲載 取材』連載」  
 出演 演出 興行』実演 主演 公演 再演  
 上映」  
 2 作業 工作 製造。製 製作 人造 修理  
 設計 装備 操作 撮影』造作 作成(作製)  
 人工 細工 修繕 裝飾。消防 解剖 採集  
 射撃 試射 射ち」  
 料理。掃除。』家事 裁縫。洗濯。虫干 磨き  
 3 扱い 使用 応用。\*利用。採用 行使』取  
 扱 日用 適用 活用 乱用」  
 処理 処分 処置 措置 対処 始末』手数。  
 手配」

## 1.4

- 400 製品 商品 \*品。』品物。私物 土産。荷  
 物。重荷 産物。国産 名産 百貨 見本。  
 (模型。』  
 1 通貨 札。』貨幣 銀貨」  
 410 物資 資源 材料。原料。素材 料』材  
 教材 屑。』  
 1 紙。』用紙 半紙 色紙 紙片」  
 —』布地 生地 ナイロン ビニール」  
 —』木材 材木。板。丸太」  
 コンクリート。硝子。煉瓦。』瀬戸もの。セメン  
 ト 墓石 瓦。(金物。』  
 鉄鋼』鋳物 合金 地金 筋金 鉄骨」  
 燃料』ガス。マッチ。ガソリン。炭。(薪。』  
 —』肥料 堆肥 硫安」  
 —』蠟 ゴム。油。(糊。』  
 2 —』輪。管。筒 バイブ 釘。盤 パー  
 蓋。揚げ底 棒。片棒 コン棒 杖。ステッ  
 キ 竿。挺子 バネ。軸 栓。(ピン。ねじ。  
 柄。鞭。縁。』  
 3 網。注連縄』紐。繩。テープ 鉄糸 鎖。』  
 網。』網 法網」  
 420 —』衣料 呉服 棉 木綿。糸。織物  
 布。綿。布。絹。タオル 羅紗 毛布。毛皮」  
 1 衣服 着物。服 和服 洋服。』衣類 衣裳  
 服装 制服 紋つき 寝間着 水着 背広  
 モーニング」  
 2 袴。』コート 外套。オーバー 羽織。小  
 袖。上着。スカート ズボン。下着。シャ  
 ツ。帯。(チョッキ。襦袢。』  
 3 ポケット。』襟。裾。釦。(カラー。』  
 4 帽子。下駄。草履。靴。』甲冑 ヴェール

帽 冠 ソフト マスク ネクタイ。腹巻  
 手袋。足袋。靴下。わらじ 拍車」

- 5 蒲団(布団)。枕。』財布。手巾。夜具 シーツ  
 傘。(手拭。風呂敷。』  
 430 \*食糧(食料) 食物 主食 弁当。』常食 食  
 べもの 食べ物」  
 米。米 糠』米穀 穀物。ヤミ米」  
 1 飯』ご飯。握り飯 パン。そば 豆腐 コ  
 ンニャク あんころ スープ 天ぷら 焼鳥  
 餃子 漬物」  
 —』塩鮭 煮干し 蒲鉾 牛肉 ハム」  
 2 ミソ』塩。食塩 砂糖。醤油。バター。  
 (酢。』  
 3 —』菓子。ケーキ せんべい つまみ物」  
 4 茶。酒。ビール。』飲み物 飲料 コーヒ  
 ー。ミルク 酒 ウイスキー 洋酒」  
 煙草。』  
 5 薬。剤』薬 麻薬 煎じ薬 ヒロポン ズ  
 ルチン 酒精 爆薬」 毒→.562  
 6 線香』香 香水 白粉。口紅 石鹸。』  
 440 \*住宅 屋敷 宮 墓。』住居 社宅 御所  
 宮 邸宅 邸 城 城 古墳 渠。』  
 1 建物 家屋 ビル 塔。堂 食堂。小屋』  
 建 長屋 拜殿 本堂 校舎 講堂 アトリ  
 ニ 文庫 書庫 スタンド (倉庫。』  
 2 門。鳥居 玄関。\*部屋。\*室 間 座敷。  
 書齋 台所。廊下。床 炉 風呂。』垣 塀。  
 柵 浴室 広間 茶の間 居間 寝室 便  
 所。厠 縁 縁側。(垣根。』  
 3 土台 柱。支柱 壁。窓。』屋根。軒。破目  
 天井。電柱 梁 床。礎石 煙突。』  
 4 ベッド \*舞台 棚。』寝台 寝床。ステー  
 ジ 式台 欄干 階段。藤棚 戸棚。』  
 5 戸。扉 幕。畳。』ドア 雨戸 硝子戸 障  
 子。テント。天幕 揚幕 マット 土俵」  
 6 机。テーブル。椅子。』箆笥。鏡台 火鉢。  
 炬燵 梯子。』  
 450 道具。』財 私財 宝 国宝」  
 1 器 袋。籠。桶。』陶器 茶器 紙袋 箱。  
 木箱 硯箱 抽斗。鳥籠 靴。リュック 水  
 筒 角樽 バケツ。(俵。罎。』  
 罐。』瓶(罎)。壺 井 盃。コップ。皿。碗。  
 茶碗。鍋。薬罐。鉄瓶。杉箸 匙。俎板  
 盆。膳。(釜。箸。火箸。』  
 2 装置 筆。活字』具 器具 鉛筆。ペン。  
 コンパス ゴム消し(墨。インキ。印。』  
 鎌。針。』農具 鋏。工具 スパナ 枷 櫛。

- 指環 扇子。うちわ。箒。刷毛。(鉄槌。)
- 3 —『キレ物 ナイフ。庖丁。太刀 剣  
ナギナタ バリカン のこぎり。鋏。かみそり。  
(刀。刃。鎌。)
- 4 武器 \*兵器 爆弾 \*原爆 水爆 槍 銃  
鉄砲。ピストル 砲』 矢 玉。弾丸 砲弾  
魚雷 楯 小銃 大砲。バズーカ 引ガネ』
- 5 鐘。』 楽器 ベル ピアノ。笛。簫 ラッパ  
太鼓。』
- 人形。像』 玩具 おもちゃ。カルタ 面。ま  
り。サイコロ 仮面 傀儡 銅像 胸像』
- 6 看板。碑』 立札 名札 位牌 旗。国旗  
馬標 軍配 額。徽章。』
- 7 帳 手帖 \*本。票 レッテル』 切符。切  
手。葉書。ノート 札。ビラ 表紙。(帳面。  
名刺。)
- 8 燈火』 燈 電燈 提灯 ネオン (あかり。  
ランプ。)
- 9 カメラ』 レンズ 眼鏡。鏡。フィルム 原  
板』
- 460 ラジオ。テレビ』 テレビジョン マイク  
テレタイプ 無線』
- 1 \*機械。\*機 時計。』 計 モーター 汽筒  
ロボット ロケット ポンプ (はかり。物  
指。秤。)
- 2 車。\*車 タクシー バス トラック 戦車  
汽車。列車 鉄道。電車。』 土車 だし 輪  
タク ベダル ジープ スクーター エレヴ  
ーター 神輿』
- 3 \*船(舟)。船 船舶』 出船 艦艇 ポート  
ジャンク ヨット 漁船 工船 汽船。軍  
艦。帆。タラップ 甲板』
- 4 —』 航機 ジェット機 ヘリコプター  
単発 マタドール』
- 470 庭。公園。園』 宅地 市街 園 庭園 樹  
石 グランド フィールド』
- 農地 田畑 畑。広場』 田。田んぼ 耕地 桑  
畑 山林 墓場 砂場』 →. 522
- 1 道路 \*道(路・途)。道 踏切 橋。軌道』  
ストリート 通路 逃げ道 歩道 坑道 隧  
道 鉄橋 栈橋』
- 2 ダム 池』 港。港 堤 堤防 壕 壕  
溝 噴水 用水 水道。井戸。』

1. 5

- 500 刺戟。』
- 1 光 反映 闇 影。』 光熱 光線 反射。照

- 明 陰影 映像 人影 面影 幻影 火影  
スペクトル 艶。』
- \*色。色 黒 赤 緑。』 色彩 色どり 血色  
白 灰色 紅 緋 黄色 グリーン 金色  
(紫。)
- 2 音。』 音 響き 音色 靴音 砲声 ざわめ  
き』 声→. 3003
- 3 匂い。味。味』 香り 香氣 臭気 体臭  
残り香 味気 珍味』
- 510 \*自然。天然 物質。\*原子 分子 電気。』  
万有 五輪 三才 三体 電子 電流 電波  
引力』
- 1 鉄。水素』 金属。黄金 金。銀。銅。青銅  
鉛。亜鉛 カルシウム リチウム 青酸 (ア  
ルミニウム。かね。)
- 石。土。泥。石炭。石油。』 鉱物。鉱石 石  
岩。砂。土砂 原炭 油』
- 』 塵埃。カス 残滓 粉。捏粉 くず  
よごれ 垢 粘り 苦渋 (気体。液体。固  
体。ごみ。錆。)
- 煙。灰。』 焦げ 余燼 煤』
- 2 空気。雾田気 ガス。』 大気 熱気』
- 3 \*水。』 水 泡 海水 汚水 湯。蒸汽。氷。  
霜。湯水 汁。(露。)
- 4 洪水 地震。爆発。火。火事。放射 熱。』  
白熱 沸騰 凝結 結氷 なたれ 氾濫 高  
潮 化合 爆破 昇華 炎 火の玉 口火  
飛火 下火 焼夷 (雷。)
- 波。』 怒濤 うねり 潮 しぶき』
- 5 天気。\*風。嵐 台風 雲。霧。\*雨。雪。』  
気候。氣象 天候 秋晴れ 曇天 雨天 荒  
れ 風雪 北風 寒風 潮風 モヤ 梅雨  
霰 降灰 虹』
- 520 宇宙 空。太陽。朝日 月。衛星。地球。』  
天文 天。天地 空 上空 満月 新星 日  
食』
- 1 \*土地。地盤 大陸。洲 島。島 \*山。山  
丘 砂丘 坂。原 河川 \*川(河)。流れ 海。  
海 \*洋 沖。湾 海岸。温泉。』 地形 陸。  
陸地 半島 孤島 小山 峰 山脈。高台  
谷。沢 盆地 野。平野。野良 江 河口  
溪流 河床 湖。湖水 池。大洋 深海 公  
海 海峡 浦 浜 岸。 兩岸 崖 いずみ  
地下 (瀧。)
- 2 国土 林 森。』 風土 本土 漁場 林。松  
林 藪 田園 空地』 →. 470
- 南極』 北極 赤道 熱帯』



- 光景 景色。風景 背景』眺め 見晴し ラブ  
シーン』
- 550 性 セックス 牡。』雌雄 雌。同性 生物  
繊維』
- 1 植物。木。草。』草木 植木 立木 流木  
本草 藥草 野菜。』
- 2 小麦 苔。』南瓜 朝顔 サツマイモ 木犀  
オリーブ 柿。榊 わびすけ 葡萄。蜜柑。  
豆。蓮華 薔薇。林檎。キャベツ 桜。梅。  
桑 柳 芋。芦 麦。稲。竹。檜 巨杉  
松。ぜに苔 キノコ。海藻 ワカメ (桃。  
梨。蔞。麻。瓜。バナナ。菊。大根。なす。』
- 3 根。枝。葉。\*花。実。種。』幹。枝葉  
やせ枝 青葉 芽。花 蕾。穂。苗。樹脂  
(節。蔓。莖。果物。』
- 560 動物。\*人類』生き物 野獸 (獸。』
- 1 猿。鼠。猫。犬。熊 馬。羊 鳥。鷄。蛇。  
魚。虫。』山猫 狼 狂犬 走狗 狐 オッ  
トセイ 牛馬 牛。軍馬 野猪 豚。象 鳥  
類 珍鳥 おとり いんこ 鶯 燕 鶯 ト  
キ 鳩 山鳥 七面鳥 青大将 竜 蛙  
蛙。がま 魚類 雜魚 ヒラメ 鯛 鱈 マ  
グロ 鰹 鰻 鮭 鱒 鱒 金魚 ピラナ  
ひとで 昆虫 蚕。蚊。かげろう 蜻蛉  
蠅。蜜蜂 蟻。蟹 蜘蛛 牡蠣 みみず チ  
ブス菌 黴菌。(兔。蜂。蝶。貝。』
- 20 \*身体。\*身 裸。裸体 肉体』体格。全身  
遺体 母体 骨身』
- 21 \*頭。\*顔。\*目(眼・瞳)。頬。耳。鼻。\*口。  
喉(咽喉)。首。』ハゲ頭 首級 面 顔立ち  
笑顔 眼ぶた 眼珠 目玉 血眼 斜視 盲  
目 額。顎。耳目 唇。舌。咽元 嘴。』
- 22 \*胸。腹。肩。背中。背 腰。』上体 下腹  
肩身 尻 足腰 尾。蛇尾』
- 23 \*手。右手 左手 両手 腕。指。\*足(脚)。  
膝。』手足 四肢 片腕 拳 掌 片足 大  
股 翼 鵬翼』
- 24 頭腦 腦。心臓。血管』内臓 髓 肺。動  
脈 食道 胃。肝 腎臓 鰓』
- 25 骨。神經。齒。髮 髻。皮膚。肉。』骨格  
遺骨 義齒 象牙 甲 毛。白髮 金髮  
ちぢれ髮 禿 眉。あご髯 膜 肌 指紋  
羽根。(鱗。』
- 26 血。血液 \*涙。小便 蛋白 脂。』血球  
鼻血 嬉し涙 唾 乳。汗。尿 脂肪 ビタ  
ミン 毒。』
- 27 ——』卵。卵黄』

- 570 生命。生』命。人命 壽命 長寿 長生  
短命 命生 余命』
- 10 誕生 生 成長 生存』生死 生み 難産  
成育 成熟 育ち 老 芽生え 結実』  
→.157
- 11 \*死 自殺 戦死』死去 死亡 逝去 他  
界 没 死滅 再生 自決 枯死 討死 戦  
没 病死 殺生 射殺 屠殺 殺戮』
- 20 栄養 熱。息。消化。生殖 遺伝 混血  
腐敗』生理 脈 呼吸。青息 咳。排泄 発  
情 風媒 醱酵』 声→.3015
- 21 健康。』傷病 怪我 傷。傷 負傷 かす  
り疵 火傷 死傷』
- 22 病氣。病 中毒 出血 結核 \*風邪。』疫  
病症 炎 重病 水ぶくれ 頭痛 貧血  
卒中 癩 けい肺 癌 腫物 治癒』
- 23 ——』吃 びっこ いざり』

## 2.1

- 111 \*於く。\*拘わる \*掛る(懸・羅) \*掛ける(懸・  
梁)。\*関する 帰する \*従う。属する \*対  
する。\*就く。\*着く(付・憑・就) \*附ける \*以  
つ \*基く 役立つ \*由る(依・拠。』 因む』
- 2 \*似る。\*違ふ。異なる \*交る。即する 反  
する \*当る。応ずる あてはまる \*合う。』  
類する 似通う 兼ねる もとる 食違う』
- 3 \*着る。履く。擁する 包む。背負う 抱  
く。抱く 脱ぐ。とりまく 挟む。さし挟む  
蒙る からむ かぶる。かつぐ 抱える 掩  
う 帯びる 負う あびる。』着せる。纏う  
むきだす だきしめる 取り囲む くるむ  
かぶさる かばう 囲む。浴する 剥く。』  
\*含む 含める 交る』入り交る とりまぜる  
まじえる まぜる。』
- 120 \*ある(有・在)。\*居る。\*居る いらっしや  
る。ござる。候 控える』存する います  
おわす はべる ありふれる』
- 1 \*現われる(表・頭)。現わす。隠す。\*出る。  
\*出す。』呈する 隠れる。ひそむ 秘める  
暴き出す』
- 2 \*なる(成・為)。\*生ずる \*出来る。成り立つ  
出来上る \*興る(起)。\*起きる。\*おこす。  
湧く』ひき起す わき起る まきおこる』  
出来る→.13 生れる→.55
- 3 作り上げる うみだす うちだす つぶれ  
る つぶす。』作り出す→.38
- 4 \*残る。\*残す。』居残る 焼残る』

- なくなる。\*失う。なくす。尽す 尽きる 絶える。亡びる。』失せる 絶する 亡ぼす。逸する 食い尽す」
- 消える。消す。』消え失せる 消え去る 打ち消す 取消す」
- 5 保つ 除く 捨てる。\*取る。\*払う。』もちこたえる 居据わる 取り除く 取り払う 出払う 振りすてる 投げ出す さしおく 省く。』
- 13 整える 備える 揃う。欠く 欠ける あらす』揃える。損う 損ずる 荒果てる 狂う。(乱す。』
- 値する \*不可<sup>いけ</sup>ナ<sup>イ</sup>。\*出来る。兼ねる 利く。たまらナイ。』叶う 似合う 釣り合う。行き届く 混む すたる 緩む。(緊まる。差支える。』
- 1500 \*変える(換・代・替)。\*変る。化する』変ずる 化ける なり行く」 帰する→.11
- 01 改める。直す。切りかえる』生れ変る 取り替える 組みかえる 立ち直す」
- 02 \*始まる(初)。\*始める。\*止める。やむ。\*済む。\*しまう。\*終る。終える 片づける。絶つ 果す \*出す。休む。』初める とりかかる 打ち切る 済ます 片づく 果てる」
- 03 \*続く。\*続ける。引き続く \*くりかえす。』降り続く」
- 1510 \*動く。動かす。振る。ゆすぶる 振う 止まる 止める 停まる。』揺れる。ゆらく 打ち振る 震える。ぐらつく 立ちどまる 止める。』
- 走る 飛(跳)ぶ。流れる。流す。引きずる』飛ばす 吹き飛ばす ほとぼしる はずむ 滑る。漂わす はねる。』 歩く→.33
- \*廻る。繞る まわす。歩き廻る』めぐらす 出廻る 駆けまわる ほっつく」
- 11 \*立つ(建)。\*立てる(建)。打ち立てる 起ち上る 起きる。据える 傾ける 倒れる。坐る。横たわる 投げる。はなつ \*掛ける。釣る。下げる。釣れる ささえる。\*受ける。構える \*置く。収まる』突っ立つ 傾く。かしげる 倒す。ひざまずく 這う。伏せる 裏がえる のめる 転ぶ。ころがる。ころがす。ひっくりかえす。くつがえる 投ずる 投げかける 放る のす 埋まる。うずめる。浸る くぐる 敷く。はめる。凭れる ひっかかる」
- 20 \*向う。向ける。向く。』立ち向う 転ずる 逸れる そむく。そむかれる」 →2.17
- 21 移る。うつす \*通る。\*通す。\*渡る(渉・亘)。わたす。もたらす \*伝える。』引っ越す 伝わる。はやる。手渡す 寄越す。吹き送る」
- \*出掛ける \*たつ。発する \*達する \*至る \*着く。届く。追いつく \*及ぶ 先立つ』走りだす 届ける 立ち至る 押しかける さまよう はやる。』
- 迎る 越える 越す。追う。\*過ぎる。\*通す。』追いかける かり立てる のりこえる 通りすぎる 通り抜ける 切り抜ける ずぬける 横切る」
- 22 \*進む。\*進める。おしすすめる \*来る。来る 去る \*行く。いらっしやる。参る。\*帰る。帰す もどる かよう。さかのぼる 逃げる。のがれる』退く すぎ去る 引き返す 追い帰す 持ち帰る 舞い戻る ひきもどす」 避ける→.352
- 153 \*出る。乗り出す 飛び出す』さしでる 流れ出す 逃げだす 溢れ出る 抜け出す はみ出る」
- \*出す。追い出す 差出す 取り出す 持ち出す 吐く。』おし出す 繰り出す 突出す 連れ出す ひき出す 掘り出す」
- \*入る。入る \*入れる。採り入れる 汲む。組み入れる 引き入れる 踏み入れる」
- 乗り込む 飛び込む 逃げこむ 割りこむ」
- つっこむ 追い込まれる まきこむ 持ち込む 籠める 閉じこもる 射ちこむ 送り込む 注ぎ込む つめこむ 吹きこむ 投げ込む 込む。』
- 抜ける 抜く。つまる。つめる 注ぐ 差す 洩れる。洩らす 泌みる』抜かす 引抜く 抜きとる 浸み亘る」 挟む→.113
- 154 上る(登・昇)。下る 下す』
- \*上る(举)。上げる(举・擡)。かかげる 引き揚げる』持ち上げる ささげる 汲み上げる すくいあげる つみあげる 吊し上げる 這いあがる はね上る」
- \*下る。下げる。』掘り下げる ぶら下る 引き下げる」
- 落ちる。落す。陥る』落ち込む けおとす つきおとす」
- 降る。』ふり注ぐ」
- \*載る(乗)。のせる。』のっかる」
- 降りる。降ろす。垂れる』こぼれる」

浮ぶ。沈む。』 浮び上る 浮出す」  
 1550 組む。解く。はずす。』 乱れる 散る。散らす。撒く。ぶちまける 編む。組合せる 組立てる もつれる 解ける。ほぐれる 綻ばす はずれる。』  
 伴なう \*連れる。\*付く。\*付ける。』 率いる 引出す」  
 並ぶ。並べる。重なる。重ねる。積む。沿う』 立ち並ぶ 列ねる 積もる。添える。はぐれる」  
 寄る。寄せる。迫る 近づく』 引きつける 片寄せる おしつめる かけよる 近よる 遠のく」  
 貼る。\*付く。\*付ける。』 くっつける とりつける とりつく 飛びつく すがる」  
 繋がる \*結ぶ。結びつく 結びつける しばる。』 結う 繋ぐ。くくる しばねる」  
 \*離れる。分ける。割る。』 放す。ふりきる さく へだてる 介する 割れる。』  
 \*集まる。\*集める。纏まる。纏める。\*合う(会・逢・遭)。合わせる。出逢う 別れる。』 よび集める つのる 取り組む ゆきあう すれちがう ずらす」  
 51 開ける \*開く。明ける。つぶる』 あく。きり開く しまる。閉じる。封ずる」  
 1560 触れる。触る 接する』  
 \*打つ(撃・射)。叩く。\*当る。あてる。ぶつかる』 はたか なる 突っかかる」  
 61 押す。抑える。押しつける 突く。』 おさえつける 圧する 押し合う 押しのける 突っかける。』  
 ——』 摺る こする」  
 \*引く(曳)。ひっぱる』 挽ぎ取る ひねる」  
 62 はばむ 詰まる。行き詰まる 貫く 防ぐ。』 妨げる。喰いとめる つかえる よどむ」  
 \*張る。』 しめる。ひきしめる 握りしめる ゆるめる。』  
 1570 曲げる。折る。卷く。』 形づくる 曲る。折れる。屈する たたむ。波打つ ちぢれる ゆがめる しかめる (そる。ねじれる。ねじる。』  
 崩れる。破る。』 崩す。崩れ落ちる 掘りくずす 打破る 踏み破る 傷く 破れる。』  
 壊れる。潰れる。つぶす』 こわす。ぶちこわす 砕ける。砕く。おしつぶす ふみにじる くじく ひしがれる」

削る。\*切る(斬)。切れる。刺す。』 刻む 掘る。はげる たちきられる 喰い切る 切り抜く 刈る。』

——』 めくる むくれる」

71 増える。ふやす 増す 加わる \*加える。減る。減らす』 つけ加える 減ずる」  
 伸びる。伸ばす。』 延べる 引伸ばす 差のべる 縮める」

拡がる。拡げる。』 ひろめる 狭める」

高まる 高める 深める』 聳える 深まさる ふくれる」

——』 早める 古びる」

ためる。』 長ずる 強まる 弱る 昂ずる」

満ちる 満たす 溢れる』 滲える 余る。切り捨てる 凌ぐ 上廻る 手控える こぞる 引くくるめる」 →.19

16 際する 臨む 瀕する』 位する」

\*経つ。経る \*過ぎる。過ごす』 永らえる」  
 急ぐ。遅れる。』 せく はかどる 手間どる」  
 次ぐ』 相次ぐ」

17 ——』 面する 隣る 偏する」 →.152

19 限る。極まる 極める \*過ぎる。足りる。』 →.157

\*優れる。劣る。値する』 まさる。秀でる」

## 2. 3

3000 \*感ずる。気付く 眠る。寝る。酔う。構う』 疲れる。痛む 覚める。覚ます。夢みる。寛ぐ 狂う。血迷う 酔っぱらう 飽きる。』

01 味う \*驚く。驚かす。\*喜ぶ。楽しむ。

苦しむ。悲しむ 悩む 悩ます \*恐れる。

焦る おびやかす 怒る。\*困る。慌てる。

おちつく。\*(かわい)がる』 恐れ入る 窮する

憂える まごつく 案ずる 謹む。待ちこがれる 呆れる 懲りる 耽る 照れる こだわる」

02 好む \*愛する 親しむ 嫌う。憎む。』 たしなむ 慕う ほれる なつかしむ 甘ったれる 懂れる いやがる 怨む。慰める。惜しむ。貪る 尊ぶ あがめる (好く。』

03 \*笑う。\*泣く。』 微笑む 歎く むずかる はしゃぐ 泣きじゃくる 咆える がる」

3010 \*努める(働・勉)。がんばる 堪える 欲する 願う。望む。思い切る 諦める。祈る。期する \*待つ。\*求める。省みる』 励む。励ます。こらえる ためらう たじろぐ 憚る 見合せる 志す 祝う」 →.33

- 11 誇る。威張る。』奢る 思いあがる 己惚れる 恥じる へり下る ぶる すます とぼける 馬鹿げる」
- 12 慣れる。』習う。待ち構える 則る \*学ぶ 覚える。\*思い出す \*忘れる。』修める 置き忘れる 思いおこす」
- 20 \*思う。存ずる \*考える。\*信ずる。疑う。迷う。』思いつく 思いがける 思い浮べる 思い込む 思いたつ 思い直す 危まれる」  
\*知る。\*知れる \*わかる。解する 解く。\*認める。心得る』覚る わかりきる わきまえる」
- 21 \*比べる。比する \*選ぶ。\*採りあげる \*要する(に)』見比べる 照し合せる 例える。えりわかる にらみ合せる」
- 22 試みる。調べる。計る。数える。』試す。算する みつもる 差引く 裏づけられる さばく」
- 目指す 探す。探る 見出す 見つける。見のがす』めがける 捜し出す 見当る 見つかる 見失う 見受けられる みなす」
- 23 愚ぶ』断ずる かんぐる 察する 見ぬく 卜す 否める」  
\*決まる。\*きめる。決する 定める』定まる」
- 3 あやまる まちがう。』まちがえる。取り違える 正す」  
—』企てる 講ずる もくろむ たくむ」
- 3090 \*見る。\*見える。見上げる 見下す 眺める。見つめる ねらう。見かける 睨む 覗く。』仰ぎ見る 見まわす 見渡す 眺めやる 見入る 見守る 睨みつける みはる」  
\*見せる。\*示す。指す。』 →22
- 1 聞く。聞かず 聞える。伺う』承る 聞き入る 伝え聞く 耳馴れる 聞きかじる (嗅ぐ。』
- 310 \*言う。おっしゃる。\*申す。申し上げる 言いかえる 黙る。』奏する 言い出す 言い張る 申し添える 言い古す」  
\*書く。しるす』印する 書きつける 認める 書きたてる 題する」  
\*呼ぶ。称する 名づける』唱える 名のる 名ざす」  
表する \*うたう。叫ぶ となる」  
\*述べる』言い現わす となり込む 訳す」  
—』申し渡す 仰せつかる 宣せられる」  
\*読む。』関する 読み取る 読み通す 読み返す 読みふける」
- 1 \*伝える。伝わる。\*通ずる 知らず 知らせる。報ずる 告げる \*話す。\*語る 物語る 喋る 説く 講ずる』談ずる 言いふらす まくしたてる 呷く 話しかける 呼びかける」  
問う 訊ねる \*答える(応)』糾す」  
論ずる』弁ずる やじる 評する 誇る ののしる」
- 320 写す。描く』描き出す 劃する」
- 332 \*働く。勤める。かせぐ 休む。』怠る 怠ける。』 →.301
- 3 暮す。営む』携わる」  
\*食う \*食べる。』食す 召しあがる 喰い込む 食わす」  
着る。』 →.113
- \*住む。泊る。』住み慣れる 住みつく 宿る」  
—』拜む。拜する 葬る 祭る。祀られる 奉ずる 祝う。』
- 9 遊ぶ。騒ぐ。』暴れる (たわむれる。』  
すわる。\*歩く。歩む 踏む。寝る。起きる。舞う 握る。握む。\*持つ。』坐す うづくまる 躓く 躍る。蹴る。泳ぐ。いじる 摘む 揉む しぼる 拾う。練る かきまわす かきむしる 撫でる。』  
走る→.151, 打つ→.156
- 振り返る とらえる とらわれる』もがく 振り向く 醸えす つかまる つかまえる。』  
\*飲む。吸う。吹く。飲み込む 吐く。嘗める。うなずく』嚙む。吸い込む ふかす 喘ぐ (鼻を)かむ」
- 342 \*する。\*される \*させる。\*なす(為・成) \*至す。\*なさる。\*行う。演ずる やる。犯す 催す』仕る 遊ばされる」
- 3 とげる 果す』しくじる やりきれる」
- 351 訪ねる 訪れる 招く 待つ。迎える。\*会う。別れる。』付き合う 訪う 弔う 辞する 呼び出す もてなす」
- 2 裏切る 訴える。\*頼む。頼る。任せる。委ねる \*許す。応ずる 断る。拒む』約す 誓う 申し込む 申し出る 聞き入れる 交わす 報いる 仕える (取次ぐ。』  
—』せがむ 責める 乞う」  
→.36 求める→.301
- 3 争う。勝つ。敗ける。敗れる。\*戦う。襲う \*守る(護)。避ける。免れる 破る。』競う 打ちかつ 攻める 挑む やっつける 襲いかかる 脱する (よける。』

逃げる→.152 防ぐ→.156

360 —』治まる。治める。司る 取締る 任ずる 雇う。』

2 \*教える。導く さそう。』教わる』

強いる 命ずる 禁ずる 制する 従う。促す 勧める。』課する 申し付ける』

止める→.151 求める→.301

手伝う。救う 助ける。』助かる』

養う。』力付ける』 飼う→.38

誉める。はげます』叱る。警める 罰する 謝る。咎める』 慰める→.3002

誤魔化す だます。』崇る 偽る あざむく』

—』憐む からかう あまやかす いじめる。恥かしめる』 構う→.300

—』おどす 嘲ける 媚びる へつらう とりいる つけいる』

370 \*得る。\*取る(執・採・撮)。\*持つ。携える 占める 有する \*要る。』とりつく 受持つ 蓄える 富む』 とりあげる→.302

2 納める \*払う。支払う』費す』

儲ける』儲かる 益する』

\*売る。売れる。\*買う。』売り出す 売りつける 買取る 買入れる 卸す』

\*受ける。受取る 受入れる 引受ける 奪う。』引取る かすめる 差上げる』

\*与える。譲る。\*贈る \*あげる。\*呉れる。\*下さる。給う 恵む \*やる 捧げる \*もらう。\*頂く。』授ける 奉る 施す 供する 供える 給わる 托す』

盗む。まかなう』博する 賭ける つぐなう』貸す。借りる。預る。返す。』貸出す 借出す 借り受ける 踏みたおす 預ける。配る。届ける。』

—』栄える 衰える 賑わす』

380 \*作る。作り出す 設ける』こしらえる 仕かける』 うみ出す・作り上げる→.123

運ぶ。もたらす 送る。』

かざる。』あしらう 装う しゃれる』

—』洗う。縫う。編む 織り出す 磨く。鍛える。(織る。』

拭く。塗る。』拭う ぬりつぶす (掃く。』

飼う。』耕す。植える。植えつける 蒔く。漁る かもす 罾だす』

築く』築きあげる』

扱う。取扱う。\*使う。\*用いる。』使い古す あやつる (漕ぐ。』

勉ずる』乗ずる』

## 2. 5

50 光る。輝く。照らす。映る。目立つ 汚れる。』照る。ひらめく 映ずる ぼける 色どる 黄ばむ 青ざめる すきとおる ちらつかせる 汚す。汚す 染める。』

鳴る。』鳴らす。轟く 響く。きしむ』

—』匂う 薫ずる。』

51 —』さらされる こわばらせる ねばる 渋る 薄れる 澄む 濁る。濁す』

じみる』しみる しみこむ にじむ うるむ

乾く。干す 濡れる。濡す。うるおす まみ

れる 溶ける。(乾かす。湿める。溶かす。』

晴れる。吹く。』荒れる 吹き荒れる(曇る。』

燃える。灼ける。焼く。煽る』燃やす。焚く

燃えたつ くべる 煮る。沸く。沸かす。冷

える。(冷やす。焦げる。煮える。』

暮れる。明ける』明かす』

—』冴える 凍る。凍える 煙る』

55 \*生きる。生かす \*生れる。生む。\*死ぬ。

殺す。育つ。育てる。はらむ』生き残る おし殺す 枯れる。老いる ふける 肥る。瘠せる。』

—』またたく くらむ 涙ぐむ しゃがれる 咳き込む 噎せる』

餓える 害する \*治す。』病む 治る。しびらせる 毒される』

(肝を)かく。生やす 咳く。』生える。角組む 実らせる 繁る。萎む 腐る。腐らせる』

## 3. 1

10 \*こんな。斯よう \*斯う。\*斯く 斯る』これしき』

\*そんな。\*そう。\*然る さる』さ 左様』

あんな。ああ』

\*どんな。\*どう。如何 如何。』いかが』

と 動云云』そうこう』

\*いわゆる \*或る。望る』今』

特定 \*殊に \*特』

端的 \*別 ほかなる』

本格 準』

真 \*本当。正に \*正しい。正当 不正 不当

正常 正式。\*当然。あたりまえ』真。リア

ル 切実 まさしく 本式 まとも』

専ら』偏え ひたすら』

個々 一々 \*夫々 \*各。』

主 おもに 主要』

- 11 密接 \*直接。間接。緊密 ばらばら \*共。  
一斉 \*一緒。』 雜然 渾然』  
\*何故。\*合理』  
\*同じ。\*同様 同 \*非』  
まるで あたかも \*如し らしい。\*みたい  
\*丁度。ちゃんと』 均しい。均等 対等 異  
さながら 案の定』  
乍ら。儘。\*通り』  
\*的。』  
共通 反対。相 \*互。反 対。』
- 12 \*無い。\*無。珍しい。稀。\*不。』 虚しい  
儂い からっぽ 未曾有 不可欠 故(空。』  
\*決して。\*全然 一向 ちっとも 到底 とて  
も。\*なかなか。\*ほとんど。』  
\*可能 容易 易しい。易い。むずかしい。難  
い にくい。困難。有効 便利。無理。』 た  
やすい。不能』 →.37  
仮。偶然。必然 必至 \*絶対。\*必要。』 必需』
- 13 \*相。\*様。\*虚 簡単。複雑。微妙 面倒。』  
ややこしい』  
\*普通。平凡 並 碌 \*一往(一応) 一般。変。  
妙 奇妙 おかしい。馬鹿。\*重大 深刻  
特殊 特別。独特 とんだ』 並々 非凡  
格別 とりわけ』  
\*色々。いろんな 様々 種々 \*諸 単純。一  
様』 とりどり 単一 単調』  
\*良い(好・善)。良さ 宜しい。好 結構 \*悪  
い。不良』  
ふさわしい 適當。適切』 絶好 うってつけ  
最良 怪しからぬ 頃合い 種々』  
\*立派。優秀 見事 すばらしい \*駄目。』 上  
乗 最低 劣等』  
\*安全。大丈夫 危い。危うい \*危険。』 無事。  
無難 つつがない』  
——』 安らか 平靜 平穩 安易 不穩 険悪  
由々しい』
- 14 \*強い。強さ 力強い 強大 強力 有力  
弱い。弱さ 弱体 \*烈しい。\*ひどい。しっ  
かり。』 根強い 強固 強烈 無力 貧弱  
脆弱 凄い 物凄』
- 15 おのづから 活潑 盛ん。どンドン じっと  
そっと ぱっと』
- 16 \*よく 度々 屢々 \*常。頻り 続々 時々』  
往々 たま しょっちゅう 頻繁 のべつ  
年中 再三(毎。』  
直ち 忽ち \*直ぐ。取りあえず 』 \*やが  
て』 即座 直』
- \*急。俄か いきなり 突然。突如 ふと』 出  
しぬけ 勃然 忽然 一躍 急激』  
\*次第 段々。徐々 ゆっくり。次々』 おもむ  
ろ 漸次 逐次 着々 なし崩し』  
\*暫く。\*既 もはや \*もう。\*曾て(嘗) かね  
て 予め 元来 もとより』 かねがね 夙く  
本来 もともと』  
減多 \*まだ。未だ 未 漸く。やっとな \*遂に。  
\*結局 到頭。いよいよ。』 ついぞ まだまだ  
はや』 珍・稀→3.12  
新た \*新 \*始めて。今更 現 次 今。』  
(明。』  
久しぶり ぶり \*再び \*再 \*また。つい  
依然 \*まず。たまたま 果して』 あいに  
く。』  
恒久』 無限 とこしえ 久しい』  
\*早い(速)。急速 遅い。』 速か 敏速 手早い  
素早い 遅鈍 スロー あわたたしい』  
\*新しい。新 \*古い。』 新規 新鮮 新興 新  
進 古 古めかしい』  
幼い。\*若い。』 うら若い 年頃』
- 17 \*長い。短い。長』 長 長たらしい 短』  
遠い。遙か \*近い。』 ま近 身近』  
\*高い。低い。低 \*最高 最低』 小高い 高ら  
か』  
\*深い。浅い。』 深々』  
\*広い。広汎 狭い。』 広大 洋々 狭苦しい  
窮屈』
- 18 \*大きい。大。\*大。巨大 龍大 過大  
\*最大 大きさ 中。\*小さい。小。\*小。こ  
まかい。』 極大 ささやか 群小 かすか。  
ハンディ』  
うすい。』 厚い。分厚い』  
——』 太い。細い。筆太』  
重い。軽い。重』  
薄い。』 濃い。』  
真直ぐ。』 丸い。平たい 平。水平。いびつ  
峻しい。平行。』  
鋭い。』 鈍い。尖鋭 円滑 粘っこい (滑ら  
か。』  
堅い。』 やわらかい。柔軟 荒い。』  
——』 燎乱 点々 濛々』
- 19 \*単 唯一 \*両。\*総』 単独』  
\*多い。\*沢山。豊富 莫大 無数 無限 豊か  
数々 うんと \*少ない。乏しい \*僅か 』  
ささか 少々 満員 一杯。余計』 多大 甚  
大 無量 零細 過多 幾多 年上 年下』

\*完全。\*全く。すっかり 悉く \*全 \*あらゆる』まるまる 逐一 (片。』全然→4.12  
 \*大体。ほぼ \*約 およそ \*十分。\*ほとんど。』一通り あらかた かれこれ 辛うじて』  
 \*非常。\*大変。大した 頗る 甚だ。甚だしい  
 \*極めて 極く 至極 \*まこと。\*実 極端  
 過度 超 あまり とても。馬鹿。』大層  
 いと 濫り むやみ 無性』  
 \*最も。最 \*一番』無数 無上』  
 \*もっと。ずっと \*一層。\*より \*更。\*益々。  
 なおさら』一段』  
 \*相当。随分。\*かなり。\*大 余程。大分。\*少  
 し。\*ちよっと。稍 ほん \*少なくとも せ  
 めて せいぜい \*あまり \*唯(只・たった。』

## 3.3

300 痛い。』眠い。かゆい。  
 ——』敏感 鋭敏 過敏』  
 びっくり はっと』がく然』  
 楽。呑気。』のんびり 気楽 固苦しい 重苦  
 しい 恍惚』  
 楽しい。愉快。嬉しい。面白い。可笑しい。』  
 快い 痛快 悦ばしい』  
 苦しい。辛い 恐ろしい。恐い 悲しい。寂し  
 い。哀れ』センチメンタル 切ない 悒鬱  
 悩ましい わびしい 気強い 心細い 悄然』  
 ほっと』  
 \*欲しい。望ましい \*度い。』思わしい』  
 惜しい。残念。情ない』くやしい 無念 あた  
 ら』  
 親しい。懐しい。可愛い。可哀そう。気の  
 毒。』心安い 親愛 親密 いとしい ほほ  
 えましい 傷ましい 笑止』  
 好き \*嫌。嫌い』好ましい 大きらい にくい  
 恨めしい 呪わしい 羨ましい。』  
 恥かしい。』照れくさい 汗顔』  
 ありがたい。』  
 みじめ 悲惨 惨憺 悲愴 凄愴 暗澹 陰惨  
 散々』  
 1 ——』利口。賢明 愚か。無智 幼稚 馬  
 鹿。(賢い。』  
 巧み \*うまい。下手。まずい。』上手。堪能  
 巧妙 拙劣』  
 偉い。偉大』聖 かがやかしい 奇特 不屈  
 極悪 浅ましい 卑しい』  
 正直。真面目。熱心。真剣 率直 素直。』堅

気 善良 あどけない 純真』  
 おとなしい。』穏和 おだやか。温厚 柔和  
 しとやか つつましい 快活 陽気 奔放  
 過激 自墮落 淫蕩 ヤボ 言いなり』  
 厚い(篤)。得意。』円満 重厚 軽薄 浅墓 浅  
 薄 軽々しい 生意気。敬虔』  
 積極。消極。忠実 強引 敢て あくまで わ  
 ざわざ 折角。』極力 着実 刻明 そんざ  
 い 粗野 がさつ 一辺倒 わざと しぶし  
 ぶ 殊更』  
 ——』偏狭 孤独 頑固 強情 気短か』  
 堂々』凛乎 毅然 潑刺 颯爽』  
 大胆 平気。慎重 冷静』敢然 沈着 小心さ  
 腑抜け』  
 ——』潔癖さ さもしい 陋劣 吝嗇 やぶさ  
 か 貪婪』  
 勝手。』ずるい。狡猾 あつかましい 図太い  
 あくどい わがまま。』  
 逞ましい』猛い 勇猛 勇敢 無謀 向う見ず  
 タフ 若々しい 粗暴 兇暴 野蛮 (勇ま  
 しい)』  
 ——』尊大 不遜 僭越 傲慢 (謙遜。』  
 ——』卑怯 卑屈 卑劣 恥しらず』  
 やさしい。丁寧。親切。嚴重 きびしい。公正  
 公平。』手厚い 懇切 非情 冷淡 よそよ  
 そしい 残酷。あこぎ 公明 寛容 寛大』  
 親切→1.30  
 ——』やかましい うるさい。辛辣』  
 本気 懸命 必死 夢中』命がけ むき 躍気  
 等閑 無造作』  
 2 詳しい。詳細 つくづく』精細 精密。粗  
 雑 大ざっぱ つよさ 周到』  
 \*確か。的確 確実 正確。明確。』確固 不確  
 か うやむや ぼんやり。』  
 ——』敵か 敵肅 いかめしい 気高い 神  
 聖。神秘』  
 あやしい 不思議。』不可解 怪奇 奇異 奇  
 怪 架空 滑稽。でたらめ』  
 案外 意外 未知 あいまい』存外 思い通り  
 あやふや 疑わしい』  
 31 ——』饒舌 黙々 寡黙 口下手 口ぎたな  
 い 口頭 謬々 無断 実しやか』  
 大げさ 極秘 こっそり 公然』露骨 内諾  
 筒抜け 暗々』 秘密→1.10  
 33 ——』古風 モダン ゴシック』  
 \*有名。著名』名 知名 名高い。』  
 華やか 素朴』派手。豪華 花々しい 高尚

俗 地道 地味。質素。簡素 粗末。みずぼらしい」

めでたい。』

36 平等 公式 公共 共同』古参 父無し  
親がかり ひもつき」

37 \*重要 \*大切。貴重 有効 有利 不利 無駄。いたずら \*高い。\*安い。詰まらナイ。』  
貴い。肝腎 大事 有用 便利。有益 (不便。』

贅沢 貧しい。忙しい。不振』富裕 多忙 賑やか。セチ辛い」

### 3.5

50 明るい。\*明らか。明白 著しい 暗い。\*はっきり。』明瞭 ほのか 朦朧 暗黒 薄暗い 顕著 鮮か ありあり あらわ(透明。』  
露骨→.31

白い。黒い。\*赤い。青い。』有色 真白い 真黒 赤々 真赤 真蒼 (黄色い。』

\*美しい。美しさ きれい。輝かしい』麗わしい 醜い。醜悪 グロテスク まばゆい』  
静か。やかましい。』静寂 森閑 音なし 騒々しい」

\*旨い。甘い。まずい。』おいしい。美味 塩辛い 渋い 辛い。苦い。しつこい。(酸い。』

臭い。』香しい かびくさい ふんぶん』  
あっさり さっぱり』すがすがしい (清い。』

寒い。冷たい。暖い。暑い。熱い。』寒冷 清涼 涼しい。冷え冷え 温味 晴朗 多湿」

汚い。』清潔。清浄 不潔 薄汚い」

固い』

55 健全 新鮮』丈夫。旺盛 健啖 生。生々しい 生き生き 致命 先天 多産 未熟 無害」

### 4.1

110 \*だ \*で です』

1 \*および \*かつ \*しかも しようして  
\*そして。並びに どころか』

2 \*したがう \*そこで \*と』

3 雖ども が けれども。\*しかし。』\*ところが (ところで)』

4 \*或は \*また。\*または。もしくは』

5 \*いわば \*すなわち。\*例えば。\*つまり。』

6 ただし \*なお。尤も』

7 さて そもそも』

### 4.3

300 ああ おお さあ』万歳。』

1 \*おそらく \*必ず。きっと。大抵。多分。  
\*まあ まさに まさか 無論 \*勿論。』

2 \*一体 \*かえって。第一 とかく \*とにかく。\*ともかく \*むしろ』

3 さすが なるほど \*はたして \*やはり。』

4 是非。どうか どうぞ。なるべく。』

5 いわんや たとい。まして \*もし。\*いくら。』

31 いいえ。否 \*否 うん ええ そう ね  
おい』はい。』

35 \*御。御 \*御。御』  
やがる』

(終)



## 分類項目一覽

前掲の分類語彙表で、分類された各グループが大体どのような意味の範囲にはいるかを、簡単な見出しのことばで示す。ここに見出しとして掲げたことばは、調査で得られたものには限らない。

## 1. 名詞

## 1.1 抽象的關係

- |            |             |          |
|------------|-------------|----------|
| 1.100 コソアド | .1520 過程・経路 | .1642 過去 |
| 1 物事・項     | 1 推移・移動     | 3 将来     |
| 2 現象・真     | 2 進行        | 50 順序    |
| 3 自体・別物    | 30 出入り      | 1 終始     |
| 110 種類     | 40 上下・昇降    | 2 新旧・前後  |
| 1 関係       | 50 離合       | 3 歷程     |
| 2 同異       | 1 開閉        | .1700 空間 |
| 3 相互       | 60 接触       | 1 地点     |
| 120 有無     | 1 圧迫        | 2 範囲     |
| 1 出現       | 2 障害        | 3 境界     |
| 2 生成       | 70 変形       | 10 方向・方位 |
| 3 成立       | 1 増減        | 1 左右     |
| 4 存在・消滅    | 2 発達        | 2 中外     |
| 5 必要・保存・廃棄 | .160 位置・場合  | 20 面・側   |
| 130 状態     | 10 時        | 1 内外     |
| 1 外観       | 1 都度        | 30 付近    |
| 2 内容       | 20 期間       | .180 形   |
| 3 性質       | 1 時代        | 1 枠      |
| 4 秩序・調和    | 30 年        | .190 量・数 |
| 140 力      | 1 季節        | 10 数     |
| 1500 作用・変化 | 2 月         | 1 多少     |
| 1 改新       | 3 週間        | 20 単位    |
| 2 開始・終了    | 4 日         | 30 全体・部分 |
| 3 継続       | 5 昼夜        | 1 過不足    |
| 10 運動      | 40 古今       | 2 程度     |
| 1 転位       | 1 現在        |          |

## 1.2 人間活動の主体

- |             |               |               |
|-------------|---------------|---------------|
| 1.200 自・対・他 | .2140 親類      | .241 職業       |
| 10 人間       | .220 相手       | 10 専門的・技術的    |
| 1 神仏・精霊     | 1 主客          | 1 支配的・管理的・書記的 |
| 20 男女・老少    | .230 国民・市民・住民 | 2 販売          |
| .210 家族     | 1 人民          | 3 農・漁・猟・伐木    |
| 10 夫婦       | 2 君主          | 4 ——          |
| 20 親        | 3 社会階層        | 5 運輸          |
| 1 子         | 4 人物          | 6 生産工程        |
| 30 兄弟       | .240 成員       |               |

§ 4

- .2417 保安サービス
  - 8 サービス
  - 9 反社会的
- 2 軍人
  - 3 長
  - 4 相対的地位
  - 5 臨時的地位
- .250 公私
  - 1 家
  - 2 郷里

- .253 国
  - 4 地域社会
  - 5 政治区画
- .260 社会
  - 1 社会分野
  - 2 現場
  - 3 社寺・学校
  - 4 会社・銀行・工場
  - 5 店・旅館・病院・劇場
  - 6 その他の生活の場所

- .270 機関
  - 1 政府機関一般
  - 2 公共機関
  - 3 国会
  - 4 軍
  - 5 国際機構
- .280 団体
  - 1 クラス
  - 2 閥

1.3 人間活動——精神及び行為

- 1.3000 心・印象・気分
  - 1 情緒
  - 2 対人感情
  - 3 表情
  - 10 念・願望・態度
    - 1 意志・道徳・宗教
    - 2 練習・習慣・記憶
  - 20 知解・思考・注意
    - 1 区別・比較・分類
    - 2 試験・調査・研究・計算・証明
    - 3 想像・判断・予測
    - 4 承認・決定
  - 30 構想・意味・題材
    - 1 論理・学問・論説
    - 2 原則・方法・制度
    - 3 見当・準備・計画
  - 90 見る・見せる
    - 1 聞く
- .3100 言葉
  - 1 符号
  - 2 命名
  - 3 表現
  - 4 話す
  - 5 宣言
  - 6 発表
  - 7 読む
  - 10 通信
    - 1 報道
    - 2 話
    - 3 問答
    - 4 批判
    - 5 議論
    - 6 言論

- .3117 報告
  - 8 説明
  - 9 評判
  - 20 書く
    - 1 文章
    - 2 文書
    - 3 文献
    - 4 目録
- .320 創造・著作
  - 1 芸術・文芸
  - 2 美術
  - 3 音楽
  - 4 映画・演劇
- .330 文化・歴史・風俗
  - 10 人生・運
    - 1 出世
    - 2 進退
    - 2 勤務・労働
    - 3 生活一般
    - 4 学事
    - 5 冠婚
    - 6 式・祭儀・宗教的行為
    - 7 旅・娯楽・スポーツ
    - 8 騒ぎ
    - 9 動作
- .3400 義務
  - 1 権利
    - 1 資格・人格・才能・行儀・素行
    - 20 行為
      - 1 活動
      - 2 用
    - 30 成功・失敗
- .3500 交際

- .3501 争・平和
  - 1 会見・訪問・接待・集会・別れ
  - 20 約束
    - 1 相談
    - 2 協力・参加
    - 3 奉仕
    - 3 競争・軍事
- .360 政治・革命
  - 行政・保安
    - 1 設立・運営・人事
    - 2 教育・要求・制約・奨励・救護・世話・賞罰・仕打ち
- .370 獲得・所有
  - 経済・金融・經理
    - 1 税・資本・金銭・価値・費用・報酬
    - 2 利害・需給・取引・売買・授受・貧富・配給
- .380 仕事・事務・生産
  - 産業・職業
    - 1 農漁猟畜産作業・商売・工鉦作業・工事・建築・土木・運輸・交通・厚生・出版・興行
    - 2 作業一般・家事
    - 3 使用・処理

1.4 生産物——結果及び用具

- |            |          |             |
|------------|----------|-------------|
| 1.400 製品   | .433 間食品 | .453 刃物     |
| 1 通貨       | 4 飲料・煙草  | 4 武器        |
| .410 物資・原料 | 5 薬      | 5 楽器・玩具     |
| 1 各種原料     | 6 化粧品    | 6 標示物       |
| 2 基本的材料部品  | .440 住宅  | 7 記入物       |
| 3 綱網       | 1 建物     | 8 光熱具       |
| .420 被服材料  | 2 住宅部分   | 9 光学器具      |
| 1 衣服・服装    | 3 建物部分   | .460 電気通信機械 |
| 2 衣類       | 4 台・棚    | 1 機械        |
| 3 被服部分     | 5 造作     | 2 陸上輸送設備    |
| 4 身体につけるもの | 6 家具     | 3 海上輸送設備    |
| 5 寝具・持ちもの  | .450 道具  | 4 航空機       |
| .430 食物    | 1 器・入れもの | .470 土地利用種別 |
| 1 各種食品     | 2 器具     | 1 道・橋       |
| 2 調味料      | 文具・工具・農具 | 2 其他の土木築造物  |

1.5 自然——自然物及び自然現象

- |               |            |          |
|---------------|------------|----------|
| 1.500 肉体への刺戟  | .522 国土・風景 | .564 内臓  |
| 1 光・色・熱       |            | 5 骨・毛・神経 |
| 2 音           | .550 生物    | 6 体液・排泄物 |
| 3 臭・味         | 1 植物       | 7 卵      |
| .510 自然・物質・電気 | 2 各種植物     | .570 生命  |
| 1 各種物質        | 3 植物体部分    | 10 誕生・生育 |
| 2 気体・空気       | .560 動物    | 1 死      |
| 3 水           | 1 各種動物     | 20 生理    |
| 4 自然現象一般      | 20 身体      | 1 健康     |
| 5 気象          | 1 頭部       | 2 病氣・負傷  |
| .520 宇宙・天体    | 2 胸部       | 3 不具     |
| 1 地形          | 3 肢        |          |

2. 動詞

- |          |          |           |
|----------|----------|-----------|
| 2.111 関係 | .1503 継続 | .1570 変形  |
| 2 同異     | 10 運動    | 1 増減      |
| 3 相對     | 1 転位     | .16 時     |
| .120 存在  | 20 方向    | .17 場所    |
| 1 出現     | 1 移動・発着  | .19 程度    |
| 2 形成     | 2 進行     |           |
| 3 成立     | 3 出入     | 2.3000 感覺 |
| 4 残存・消滅  | 4 上下・昇降  | 1 情緒      |
| 5 保存・廃棄  | 50 離合    | 2 対人感情    |
| .13 状態   | 1 開閉     | 3 表情      |
| .1500 変化 | 60 接触    | 10 念      |
| 1 改新     | 1 加圧     | 1 態度      |
| 2 開始・終了  | 2 妨害     | 2 学習      |

§ 4

- |            |               |              |
|------------|---------------|--------------|
| 20 思考・認識   | . 311 通信・問答・論 | . 353 競争・闘争  |
| 1 比較       | . 32 創作       | . 36 対人働きかけ  |
| 2 試験・研究    | . 332 労働      | . 370 獲得・所有  |
| 3 想像・判断    | 3 生活一般        | 2 売買・授受      |
| 30 誤る・企てる  | 9 動作          | . 38 作業      |
| 90 見る・見せる  | . 342 行為      | 2. 50 肉体への刺戟 |
| 1 聞く       | 3 成功・失敗       | . 51 自然      |
| . 31 言語    | . 351 交際      | . 55 生命現象    |
| 0 言う・書く・読む | 2 交渉          |              |

3. 形容詞・形容動詞・副詞

- |              |              |             |
|--------------|--------------|-------------|
| 3.10 コソアド・本体 | . 17 長短・広狭   | . 31 言語     |
| . 11 関係      | . 18 大小・軽重・質 | . 33 文化・生活  |
| . 12 無・存在形式  | . 19 多少・程度   | . 36 社会・制度  |
| . 13 様相      | 3.300 感覚・感情  | . 37 経済     |
| . 14 力       | 1 個性・態度      | 3.50 肉体への刺戟 |
| . 15 発動形式    | 2 知的形式       | . 55 生命     |
| . 16 時間形式    |              |             |

4. その他

- |         |          |         |
|---------|----------|---------|
| 4.11 接続 | 4.300 感動 | 4.31 応答 |
|         | 1 陳述形式   | . 35 待遇 |

(終)